

被災時住所: 神戸市東灘区 初産婦  
出産日: 1月17日 妊娠週数: 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市灘区

1カ月検診の時〇〇先生に粉ミルクを2缶いただきました。たすかりました。ありがとうございました。

被災時住所: 神戸市東灘区 経産婦  
出産日: 1月17日 妊娠週数: 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市東灘区

- ・母子の安全確保。
- ・非常食配給のかたよりを改善。

被災時住所: 神戸市東灘区 初産婦  
出産日: 1月17日 妊娠週数: 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市東灘区

地震当日の夕方出産してそのまま1週間入院しました。野戦病院のような院内で通常の医療がうけられるとは思っていないのですが、本当ならば受けられるはずの手当てや医療を何ら説明がないままうけずに退院したことに不満と不安を覚えました。また、退院後私自身精神的におかしくなりカウンセリングしていただきました。地震と出産が重なったせいで大きなストレスがかり失感情症、失体感症になったとのことでした。入院中にそういうことに関する診療なりカウンセリングがうけられればよいと思います。

被災時住所: 神戸市東灘区 経産婦  
出産日: 1月17日 妊娠週数: 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市東灘区

- ・停電の時などの非常電源の充実
- ・消毒液その他の薬品類のストックの充実 又他院からのすばやい援助
- ・妊婦 またその他病人の非常食と飲み水 (実際に困りました)
- ・地震後暖房がきかず廊下の窓も割れ毛布1枚ですごく寒かったです

被災時住所: 神戸市東灘区 初産婦  
出産日: 1月18日 妊娠週数: 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市灘区

病院の方で食事の用意をするのが大変だったみたいです。こんなとき非常食をそなえておいていただけたらと思います。あとは水の確保を必要だと思いました。

被災時住所: 神戸市東灘区 経産婦  
出産日: 1月18日 妊娠週数: 37 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 芦屋市

お医者様も大変とは思いますが小さな町の病院、医院の先生はすぐ避難所に行かず大きな病院と連絡をとる設備、準備を整えていただけてとりあえずお医者様のそばにいただけでも安心ですので(今回近くのお医者様全員おられなかったので)そうしてもらえたらと思います。

被災時住所: 神戸市東灘区 初産婦  
出産日: 1月18日 妊娠週数: 37 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市東灘区

私の入院していた〇〇病院では本当によくしていただきました。けれど返ってけがをされた人達がろうか私と子供が個室で何だか申し訳ないきがしました。はじめての出産で何に関しても心配だったので肌着1枚にタオルの子供が大丈夫か気になった冬だったのでさむかったので、母と交代で子供を抱いてぬくめていました。やはり受け入れる側も毛布の予備や子供の肌着だけでなくお古でもいいので着るものなど用意してあげたらと思う。私も同じ入院していて全壊で身ひとつでいらした妊婦さんに寝間着や赤ちゃんのふくをあげました。その人は何もなかったことをすごく不安がっていてずっと看護婦さんに言っていたので何だかわいそうで。

被災時住所: 神戸市東灘区 経産婦  
出産日: 1月18日 妊娠週数: 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市須磨区

- ※すぐに出産できるようにしてほしい。(病院もどこがやてるのかさがすのにも何時間もかかりました。)私は、病院まで車の渋滞のため半日車の中でゆられていました。(病院について1時間後に出産)
- ・すぐに水と幼児食を援助してほしい。

被災時住所： 神戸市東灘区 経産婦  
出産日： 1月19日 妊娠週数： 40週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市東灘区

どのような災害時でもとにかく生ませてもらえれば幸いと思えました。今回の出産時はガスも水道も出ない状態で衛生的には決して良い状態とはいえないなかでの出産でしたが先生方や看護婦さんたちが普段とかわりなく接して下さっていたのがとても心強く救いになりました。今にも生まれそうでも生むところがない（病院がこわれて）人がたくさんいたと思います。そういう場合どこの病院へいけばいいのかももっとたくさんいろんな手段で情報があればいいとおもいました。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日： 1月19日 妊娠週数： 40週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市東灘区

水や食事、ミルクなどの必需品の不足よりも医師、看護婦、保健婦、助産婦といった方々の人手不足のほうがこたえました。精神的にも支えられることの多い医療関係の方々の素早く適確な派遣をお願いしたいと思えます。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日： 1月20日 妊娠週数： 36週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

紙おむつ、粉ミルク、哺乳便、清浄綿、おしりふき、生理用ナプキン、調乳用の水は絶対必要なのである程度備蓄しておいてほしい。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日： 1月21日 妊娠週数： 40週 吸引分娩  
出産病医院の住所： 神戸市東灘区

食糧、衛生

被災時住所： 神戸市東灘区 経産婦  
出産日： 1月21日 妊娠週数： 38週 自然分娩  
出産病医院の住所： 氷上郡

地震当日に、車で移動しましたが、普段1時間で行ける所に1日かかりました（実家にはとても行けませんでした）病気やけがをした人はもっと困ったと思います。非常時には病人をのせた車は優遇して欲しいと思います。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日： 1月22日 妊娠週数： 39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市東灘区

- ・ 検診や出産ができる医療機関をマスメディアなどを利用して速やかに情報伝達して欲しい。
- ・ ミルク、おむつ、哺乳びんなどとりあえず退院後すぐに必要となる物は医療機関を窓口として支給してほしい。乳児をもつ母親全てに対して（薬局、スーパーがつぶれてなかったし開店しても物がなかった。私は幸い看護婦さんが病院の物をゆずってくださり大変助かった）
- ・ あんな時だからこそ母乳がでるように看護してほしい（食事は悪く、マンママッサージもしてもらえず出なかった）

被災時住所： 神戸市東灘区 経産婦  
出産日： 1月25日 妊娠週数： 40週 帝王切開  
出産病医院の住所： 尼崎市

私の場合一人目が帝切で、今回は自然分娩を希望し努力していた所、この震災にありました。かかっていた病院は、被害がひどいので他をあったてほしいとのことでした。電話も不通の中公衆電話で病院をさがしかけるのも大変でした。病院をさがしても地震の直後は、道路が、パニック状態で病院まで5・6時間もかけて行かねばなりませんでした。非常時の備えとして近くの市や県の病院リスト等を母子手帳といっしょに渡す様にすればどうでしょうか。

被災時住所： 神戸市東灘区 経産婦  
出産日： 1月26日 妊娠週数： 37週 帝王切開  
出産病医院の住所： 尼崎市

いつどこの病院へいっても今ままで検診を受けていた病院と同じように検診や今までの状態がわかるように横のつながりをとってほしい。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日： 1月27日 妊娠週数： 41週 帝王切開  
出産病医院の住所： 神戸市西区

急に産気づくと不安になるので紹介状がなくても受け入れてほしい。地震後ある病院へ電話したら紹介状がないとダメといわれた。（お産をした病院はこころよく受け入れて下さったので感謝しています）

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日：1月27日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：伊丹市

病院の被災状況（診察可能か否か）の情報が遅かったので重い身体で、自分の足で見に行くことになったので、できれば、せめて、通院中の看者（臨月の人に特に）へ、連絡してもらいたい。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日：1月28日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：多紀郡

非常事態になっても電気がつくように、いつでも湯がでるようにしておいてほしい。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日：1月30日 妊娠週数：41週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市東灘区

精神的に落ちつけるよう援助してもらえれば有り難い。

被災時住所： 神戸市東灘区 経産婦  
出産日：2月1日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市灘区

今回の地震で通っていた病院が（避難命令が出たこともあり）玄関のはり紙ひとつなしで連絡不能になり心細い思いをしました。せめて紹介して下さるとか他の病院に移るとしても何か方法がなかったものかと思いました。突然、診察に行った〇〇病院では親切にいただき安心して出産できました。病院側も被災者だとは思いますが出産という大変な時に産婦が安心して望めるようお願いしたい。

被災時住所： 神戸市東灘区 経産婦  
出産日：2月2日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市西区

地震前にかかっていた個人病院が、こわれたり、避難してたりして、病院と連絡がつかず、あちこち何軒も電話をして断わられて、やっと受け入れてくれる病院が見つかったが、予定日間近であせったという話を何人も聞いた。出産予定間近の場合、大変あせると思うので、もっと早期に情報をしっかり流してほしい。（ケガ人優先もわかるが妊産婦の存在も忘れないでほしい）

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日：2月3日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市灘区

どこの病院が受け入れてくれるのか情報がほしい。異常があった場合、救急車でかかりつけの病院へ運んでもらいたい。個人の産婦人科にも手術用の水などを確保できるように行政に頼みたい。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日：2月4日 妊娠週数：38週 吸引分娩  
出産病医院の住所：川西市

かかっていた病院が全壊しよりの病院を探したがけが人や重病人が優先され妊産婦の入院はあまり歓迎されなかった。状況は理解できるが自分の安心出来る土地で出産できなかったのは残念です。

被災時住所： 神戸市東灘区 経産婦  
出産日：2月6日 妊娠週数：39週 帝王切開  
出産病医院の住所：小野市

- ・緊急にお産になったり、出血したりした場合の病院への連絡や交通手段の確保、人命救助（赤ちゃんとお母さんの命）
- ・必要な物資の確保。とにかく、出産に臨める体制をつくってほしい。場合により医師の派遣なども含めて。

被災時住所： 神戸市東灘区 経産婦  
出産日：2月6日 妊娠週数：39週 吸引分娩  
出産病医院の住所：三木市

- ・救出の優先順位のUP。
- ・横になって休める場所の確保。
- ・診察ができる場所の確保。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日：2月7日 妊娠週数：41週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市東灘区

- ・病院情報を迅速にしてほしい。
- ・救急車等の輸送車両の対応の強化。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日：2月7日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市西区

ライフラインを確実なものとし妊婦に不安をあたえないようにしてほしい。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日： 2月8日 妊娠週数： 39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市東灘区  
早急に検診が受けられること。

被災時住所： 神戸市東灘区 経産婦  
出産日： 2月8日 妊娠週数： 40週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市灘区

今回の地震で今までと同じところで産めるかどうかすごく心配でした。でもすぐに水もおとって「入院できます」といわれ安心しました 別のところで産むというのはすごく不安です。お産のときもかんごふさん1人でしたが無事産めてよかったです。食べ物の困難中にすごくおいしい食事をさせていただきました。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日： 2月8日 妊娠週数： 42週 自然分娩  
出産病医院の住所： 姫路市

お風呂屋さんで、他の人と一緒に入浴するのにお腹が大きいので、とても抵抗がある。産婦人科のお風呂を使わせてほしい。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日： 2月11日 妊娠週数： 36週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

私が今回の大震災で一番、考えたり、悩んだりした事は、家族についてでした。主人の家族と同居という事になってしまったのですが、入院中もその事を考えるとイライラしたり悩んだりでおなかの子供には、とってもよくない状況だったと思います。その様な時に、相談できる様な人がいればよかったですと思います。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日： 2月13日 妊娠週数： 40週 自然分娩  
出産病医院の住所： 姫路市

皆さんがケガをして避難所に行くと思いますので 避難所にある程度の薬、器具を説明書等もそえて常備するといいと思いました。（薬の使い方、急な手あての仕方など）

被災時住所： 神戸市東灘区 経産婦  
出産日： 2月15日 妊娠週数： 40週 自然分娩  
出産病医院の住所： 川西市

外傷といえるけがをした方の治療も大切ですが妊産婦は病気でないとはいえたとえけががなくても精神的なショックなどでもおなかの赤ちゃんの状態はかわると思うので災害後はなるべく早く検診を受けられるようにしてほしいです。実際1/17に臨月をむかえてから1週間後に検診を受けるまでは不安でした。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日： 2月15日 妊娠週数： 38週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

- ・清潔な水、沸騰させるための簡易機具、清浄綿（大きめのもの）赤ちゃんの顔がふけるぐらい
- ・大判のバスタオル（毛布ではかぶれる人もいるので、おくるみにもなる）
- ・出来れば一般の病人、子供を含む健康な避難者、乳児を含妊産婦をわける。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日： 2月16日 妊娠週数： 41週 帝王切開  
出産病医院の住所： 神崎郡

- ・緊急時の医療体制の確立  
（適切な治療の受けられる場所の確保や、正しい情報が早く得られるような情報伝達の確立）

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日： 2月19日 妊娠週数： 37週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市西区

衣、食や入浴、排泄などの設備が優先されること。あと精神面での指導、適確なアドバイザー。

被災時住所： 神戸市東灘区 経産婦  
出産日： 2月24日 妊娠週数： 38週 吸引分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

どこの病院が検診や出産可能な状態かということを知りたい。

被災時住所： 神戸市東灘区 経産婦  
出産日： 2月24日 妊娠週数： 36週 帝王切開  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

優先的に母子の安全を確保してほしい  
避難所などでは老人や子供を優先してい  
りようにあたり母体の安全は後回しであっ  
た。お腹のなかの子供が生存しているかど  
うかわからないまま何日も避難所にいたた  
めとても不安であった。流産や早産の危険  
もあるため。

被災時住所： 神戸市東灘区 経産婦  
出産日： 2月25日 妊娠週数： 38週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

私の場合病院が水、ガス共前日（2/24）  
迄不通だったのですが早いうちから「大丈  
夫、任しておいて」と言われていたので精  
神的にすごく安心でした。

被災時住所： 神戸市東灘区 経産婦  
出産日： 2月26日 妊娠週数： 39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

震災前に行っていた病院に通えなくな  
りましたが、赤ちゃんの（おむつミルク）な  
どを頂き、また事務員さんなどの対応がす  
ばやく適切であったように思います。外か  
らのニーズを無駄なく受け入れ対応でき  
ることを希望します。

被災時住所： 神戸市東灘区 経産婦  
出産日： 2月28日 妊娠週数： 40週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

やはり自分の事よりも、お腹の赤ちゃん  
の事の方が心配なので、何かあれば、す  
ぐ、どこでも、診察してほしい。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日： 3月1日 妊娠週数： 39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

検診時のカルテ等がスムーズに他の医療  
機関での対応に応用する様になってい  
れば良いと思う。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日： 3月2日 妊娠週数： 40週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市東灘区

今回の場合私は生まれてくる子供の為  
に特にきをつけていた。食生活が大きく  
変わってしまいました。アトピー予防の  
つもりで“卵”をやめいちにちの食品も  
なるべく食べたこと。この様な事が大  
変だったです。

被災時住所： 神戸市東灘区 経産婦  
出産日： 3月4日 妊娠週数： 40週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市東灘区

1月19日に六甲アイランドから西宮北  
口まで歩いた。34週だった。非常時だ  
ったので援助は何も期待しなかった。  
安全な避難方法など提供してもらえ  
たら良かったのではと今にしてみれば  
思う。

被災時住所： 神戸市東灘区 経産婦  
出産日： 3月4日 妊娠週数： 39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市東灘区

医院も被害にあっており、ものすごい  
状態の部屋で、地震の3日後にみて  
もらうことができた。友だちの  
ところはちがう産婦人科だが、  
地震以後2カ月たっても“見  
通しがつくまで休業”とはり紙  
をしたままお医者さんが行方不  
明になっていて、不安そう  
だった。天災は予知不可能だ  
から、実際にあったとき、  
妊産婦は必ずここにいけば  
安心して診察もうけられ、  
赤ちゃんもうめるという  
施設が必要。

被災時住所： 神戸市東灘区 経産婦  
出産日： 3月5日 妊娠週数： 39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 尼崎市

地震で家が傾き、2日間、車の中  
ですごしました。特に、おなか  
のひどい痛みはなかったの  
ですが、よく張ってきたので、  
（胎動もあまり感じなくな  
った）、伊丹の実家に帰るこ  
とにしたのですが、電柱がた  
おれ、どの道もふさがれた  
ので駐車場から出られず、  
実家から、むかえに来て  
もらうことにしました。し  
かし、国道2号線など、妊  
婦がいるからと言ってもな  
かなか通してくれず、けん  
かごして来てくれたよう  
です。もう少し、妊婦に対  
して、配りよをしてくれ  
ればと思いました。

被災時住所： 神戸市東灘区 経産婦  
出産日： 3月 6日 妊娠週数： 41 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市灘区

水が使えないためボイラーが作動せず病院内がとても寒く内診をうけるときのガタガタふるえてしまいました。トイレも水が流せないので使うのをちゅうちょしました。病院は非常時でもできるだけ診察ができるよう設備を整えてほしいと思います。

被災時住所： 神戸市東灘区 経産婦  
出産日： 3月 6日 妊娠週数： 40 週 帝王切開  
出産病医院の住所： 神戸市東灘区

体がふけつになるので、なるべく多く入浴ができれば良いと思います。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日： 3月 6日 妊娠週数： 42 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 尼崎市

カルテなしでも、すぐに見てくれた〇〇病院にとっても感謝しています。どう伝えたら良いかわかりませんが、心からリラックスして、生む事ができ、とてもうれしいです。

被災時住所： 神戸市東灘区 経産婦  
出産日： 3月 7日 妊娠週数： 41 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市灘区

1才6カ月の長男と妊娠8カ月の身重でしたので十分な水や食料、おむつなどもなくまた寒さもつらく比較的被害も少なく人々も冷静だった六甲アイランドでも私は非常に不安でした。正直なところ老人ばかり優先でしたが老人よりも乳幼児や妊婦を優先したほうが良いと思います。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日： 3月 7日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市灘区

今回の地震で通院していた病院の状況が分からなかったことが不便でした。出産予定日が近かったのでいつ何時どうなるかわからなかったのですぐ電話したけど通じなかったしテレビやラジオでも何週間も病院の状況がわからなかった。ものすごく不安なものでした。すぐ出産できる病院をテレビやラジオでながしてほしいと思います。

被災時住所： 神戸市東灘区 経産婦  
出産日： 3月 8日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

病院のでんき、ガス、水道が必ず使えるようになっていること。電話も。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日： 3月 9日 妊娠週数： 37 週 帝王切開  
出産病医院の住所： 神戸市東灘区

- ・ 妊娠後期の妊婦は塩分をひかえた食事に気をつけなければならないが決められた(配られた)弁当などしか当たらない。また私事ですが地震後2回目に検診を受けたときに安静といわれたが安静などとても出来なかった。
- ・ 健康診断とかは避難所などでよくおこなわれてきましたが妊婦検診は稀だったまた、あったとしても遠くて大きなおなかでとても行けない。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日： 3月 9日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市東灘区

今回の地震ですぐに検診を行えない状況だったので内科などの先生は避難所へいらっしゃっていたが産科の先生もいてほしかった。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日： 3月 9日 妊娠週数： 37 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市東灘区

患者さんはたくさんいて、先生はとてもお忙しいと思いますが、できるだけ話を聞いてほしいです。いつもおたてられているような診察は、不満に感じます。非常事態ほど、妊婦の精神状態が悪くなる時はありませんので。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日： 3月10日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市東灘区

地震後、胎児が気になったので親せきの近くの産婦人科に行きましたが、(〇〇〇)のその医院でお産をしないとわかったらあまり真剣に診察をしてもらえず、診察費も高かった。こういう非常時の場合は、お金をあまり持っていない方もいらっしゃるのでも無料で診察をうけいれるシステムを考えて頂きたいと思います。

被災時住所： 神戸市東灘区 経産婦  
出産日： 3月10日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市灘区

とにかくおなかの赤ちゃんの状態がすごく気になります。自分ではどうしてもわからないので、すぐに健診してほしいです。だから どの病院だと、きちんとみてもらえるのか という情報がすぐに欲しい。交通機関がなく妊婦が長距離を歩くのはつらいので、できれば往診にきてもらえると非常に助かると思います。

被災時住所： 神戸市東灘区 経産婦  
出産日： 3月10日 妊娠週数： 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市東灘区

先生が（病院はこわれていないのに）突然なんのフォローもなくさっさと避難したから、後に水とガスがないからという理由だけだと別の知人のお医者様からきき今後の指示ぐらいはできるしカルテぐらいはだせるだろうと思い非常に怒っています。地震より3カ月たってもなんの連絡もつかなかった。前述のとおり、地震の際本当に心からお礼を申し上げたいお医者様もいらしゃった反面、〇〇町の△△産婦人科は妊婦の状態（出産予定日）がわかっているにもかかわらず、病院、自宅にいくら連絡しても（地震後数カ月）直接たずねても「休診」のはりがみのみ。カルテももらえず、すべての検査をとびこみで受けてくれた病院でやりなおした。診察をしなくても事務的なことぐらいしてもいいと思う。あまりの常識のなさに不信感をもった。産婦人科学会の方より嚴重に注意をお願いします。△△産婦人科のどなたかは、〇〇大産婦人科だと聞いています。〇〇区では、この話は大変有名です。

被災時住所： 神戸市東灘区 経産婦  
出産日： 3月11日 妊娠週数： 37 週 吸引分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

今回の災害で、被災して妊婦で早産が危ぶまれていても、外科的な病人が多く、そちらが最優先されるので、仕方がないとは言え、妊婦の健康（母子共に）が軽くみられ、扱われているのを感じました。（非常時で仕方がないと思いますが）

又、地震後、かかりつけの医院が水もガスも3月上旬まで止まっており、かと言って大阪まで動けず（早産しかかかっていて）結局、さいごの診察（地震前）から2カ月ほど通院出来なかった。動けない妊婦に対する出張の医療があれば、と思います。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日： 3月11日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

今回の病院や市の対処は何につけても遅いと感じた。消防署で、近所の人が生埋めになっていると言っても、後にしてくれと言われた。（救急車がすぐ近くまで来ているのに、進めず現場になかなか着かない。）（地震当日の水、食料の配布がなかった。）など

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日： 3月15日 妊娠週数： 39 週 吸引分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

場所はどこでもよい（病院でなくてもよい）のですが婦人科のDrが常に待機していて欲しい。そしてそのことをしりたかった。

被災時住所： 神戸市東灘区 経産婦  
出産日： 3月15日 妊娠週数： 41 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市東灘区

水くみ等ハードな仕事だけでもなるべく援助してもらおうとか病院も大変な時なので検診は無理でも異常のないことの確認だけでもしてほしい。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日： 3月15日 妊娠週数： 40 週 吸引分娩  
出産病医院の住所： 加古川市

お風呂に入れないので病院などで消毒剤のようなものを配布して欲しかった。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日： 3月16日 妊娠週数： 37 週 吸引分娩  
出産病医院の住所： 尼崎市

早産の心配があったのですが分娩（緊急）処置の可能な病院の情報がしばらくわからず不安でした。どの病院が受け入れ可能かという情報をパソコン通信またはメディアで出来るだけ早く教えて欲しい。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日： 3月17日 妊娠週数： 40 週 帝王切開  
出産病医院の住所： 高砂市

私自身は避難所では1晩すごしただけですが、冬だったので冷えが心配でした。また、人が多勢ひしめいているため空気も悪く、ゆったりと体を横にしたりすることもはばかられました。できれば妊婦は妊婦ばかりの避難所とか、赤ちゃんをかかえた人だけの避難所とかあれば気もあまり使わず、共通の話題で話ができて心強いと思う。私は子供が泣くたび、“あああの時うまれてなくてよかった。”と今でも思います。

被災時住所： 神戸市東灘区 経産婦  
出産日： 3月18日 妊娠週数： 37 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

私の場合は8か月に入った所の地震だったので出産できる所があるのか交通できる道があるのかわからなくて不安でした。自宅でも出産するにも水もガスもなく（どちらも3/10に出ました）どうしようと思っていました。幸い妊検を受けていた病院から出産できるから安心してと電話をいただきほっとしました。問題は交通面です。ものすごい渋滞のなか病人、産婦ののる車は救急あつかいにしてもらいたいです。

被災時住所： 神戸市東灘区 経産婦  
出産日： 3月18日 妊娠週数： 29 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市灘区

妊産婦に対する医療もちろん大切ですが、この度の大震災で本当に食べるものもろくになくて、栄養がどーしてもとれない状態だったのでサプリメントか何かを少しでも、妊婦さんやご老人などに支給されていたらなあ…と思いました。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日： 3月18日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市長田区

健診をしてくれるなら各区ごととかたくさんでやってほしかった。兵庫のあたりでやっていたらしいが、時間がかかりすぎて、しんどくて行けない。救援物資ももっと栄養を考えて欲しい（ぜいたく？）塩分のとりすぎで大変だった。でも、それしか食べる物がなかったし。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日： 3月18日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市東灘区

- ・健診を受けられるような所を一時的でもいいので設置する。
- ・入院、分べんの受け入れを明確に伝える

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日： 3月19日 妊娠週数： 39 週 帝王切開  
出産病医院の住所： 神戸市東灘区

衛生面で、お風呂には、毎日、入りたかったけれど、週に2回入れればいい方だった。その為か、“ぢ”になりかけて、あわてて、ウォッシュレットを使った。又、いろいろな所へ、お風呂に入りに行ったけれど、それだけでもとても疲れた。地震のときは、冬だったので、まだ、ましだったけれど、お風呂にだけは、妊娠中は、特に毎日入りたいと思った。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日： 3月20日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 尼崎市

- ・精神面のケア
- ・休養場所の確保

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日： 3月21日 妊娠週数： 41 週 帝王切開  
出産病医院の住所： 尼崎市

地震後異常がないかどうか検査を実施しているというニュースを映像でみて自分もかかりつけの産婦人科に行った。ニュースの映像という形ではなくメッセージとして呼びかけた方が妊婦全員に伝わると思う。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日： 3月21日 妊娠週数： 39 週 吸引分娩  
出産病医院の住所： 加古川市

最低限、お水、ガスが十分に供給される様になってほしい。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日： 3月22日 妊娠週数： 35 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市兵庫区

出産費用の補助。



被災時住所： 神戸市東灘区 経産婦  
出産日：3月24日 妊娠週数：37週 帝王切開  
出産病医院の住所：神戸市中央区

大災害の折には病院もパニックになるのか、病気やケガとは違う、妊婦検診どころではないという感じでしたが、妊婦にとっては、よりどころであるし、救急の医療とは別で、考えて欲しい。妊産婦には、まず安心して落ち着ける住まいの確保をするための援助が必要と思う。

被災時住所： 神戸市東灘区 経産婦  
出産日：3月25日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市東灘区

地震から4日目でインフルエンザにかかり自宅では上の2人の子供もおり大阪の姉の家に移転しましたがその移転時に車では（道路が緊急車両のみ）行けずすっかり困ってしまいました。そういうときに救急であつかうよう便宜をはかるように欲しかったです。（通常の妊婦ではなく妊婦の異常時）

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日：3月26日 妊娠週数：41週 自然分娩  
出産病医院の住所：明石市

病院を変わらざるをえないのに紹介状を書いてもらえず、今までのデータも新しい病院にまわっていないのが不安でした。病院と病院の連絡がうまくいけばいいと思います。又、地震直後電話回線が不通となり幸い体は大丈夫だったのですが、万一何かあった時の連絡方法があればと思います。診療ではありませんが出産後、母乳がいいというのはわかっていますが、なかなか出ない時でも授乳室の方の接し方が非常につめたく、毎日、授乳時間が地獄のようでした。初産ということもありいろいろ心細い時、ましてあの大きな震災の後精神状態も不安定な時なのでもう少しケアを心がけてほしかった。

被災時住所： 神戸市東灘区 経産婦  
出産日：3月26日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：氷上郡

- ・お腹の胎児(母体)のみでなく、その兄姉達の安全確保(母親と離ればなれにならぬ様に)
- ・事態後の精神面への介護。

被災時住所： 神戸市東灘区 経産婦  
出産日：3月28日 妊娠週数：37週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市灘区

精神的な不安を取りのぞいてほしい。今回は、震災の数日後に主治医より電話をいただき、大変安心しました。

衛生面の援助がほしい。何日もお風呂に入れないので、不快だし、精神的にもイライラしました。清浄綿やナプキンを親類に届けていただきました。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日：3月28日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市東灘区

- ・救済物資（特に食糧）を配る際、長時間立ったまま、寒い中ならんだので、できれば体の弱い人や妊婦は、優先させてほしい。
- ・いつ体の具合が悪くなるか不安だったので、どこの病院なら、すぐに診てもらえるか、情報が欲しかった。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日：3月29日 妊娠週数：38週 帝王切開  
出産病医院の住所：神戸市灘区

やはり通常と違うことを多々不安になるのが当たり前。どこへいっても生活は変わりなくとも信頼しているDrやナースとはなしをするだけでも安心するもの。逢える（開院）ともっとうれしい安心するケド電話が通じる様な場合なら『現在この場所で医療のてきせつな看護がうけれます。この病院でお産ができる』など連絡してもらえただけでもと思います。

被災時住所： 神戸市東灘区 経産婦  
出産日：3月29日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市灘区

妊産婦としてこの度の地震で体の異常は幸いにもなく、無事出産に至ることができましたが、もう後期であったためと、洗浄のため1日おきに病院に通うことは、体の疲れと、交通機関の不自由さのため、大変な苦痛でした。また、水やガスなどに断たれ満足にトイレや風呂が使用できない状況は、何にもまして、つらかったです。そして、病院の情報、通院可能はところの確保ができればと思います。

被災時住所: 神戸市東灘区 初産婦  
出産日: 3月29日 妊娠週数: 34週 吸引分娩  
出産病医院の住所: 神戸市中央区

私自身は出産前で援助の必要性はあまり感じなかったのですが、もし赤ちゃんがいたら…と考えるとすごく心配になります。粉ミルクのこと、紙オムツのこと、衛生面のこと、離乳食のこと、赤ちゃんは抵抗力がなく病気になるると重症になる場合も多いので、もし非常事態になったとしても赤ちゃんだけは普通の生活に近い状態である様にしてほしい。(粉ミルク・紙オムツ・離乳食・お湯はすぐ手に入るようにしてほしい。)

被災時住所: 神戸市東灘区 経産婦  
出産日: 3月30日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

お風呂にゆっくり入れる(ストレスをとるため)ようにしてほしい。

被災時住所: 神戸市東灘区 初産婦  
出産日: 3月30日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

どのような事態であっても出産、疾病の手当てができるよ万全の態勢をとってほしい。

被災時住所: 神戸市東灘区 経産婦  
出産日: 3月30日 妊娠週数: 37週 帝王切開  
出産病医院の住所: 神戸市中央区

どこにいけば診察がうけられるのかという情報をどこに聞けば、すぐわかるのか(119番以外で)ということ、日頃から、明らかにしておいてほしい。

被災時住所: 神戸市東灘区 初産婦  
出産日: 3月31日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市北区

入浴。

被災時住所: 神戸市東灘区 経産婦  
出産日: 3月31日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 芦屋市

今回 仕方がなかった事だとは思いますが、外来診察が2週間程なかったので妊産婦に対する外来はできるだけ早く初めてほしいです。

被災時住所: 神戸市東灘区 初産婦  
出産日: 4月3日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 加古川市

体も清潔にしたかったのに何日もお風呂には入れず気になりました。

被災時住所: 神戸市東灘区 初産婦  
出産日: 4月3日 妊娠週数: 41週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市北区

私の友人の話ですが、地震直後に出産したのですが子供だけ別の病院に移されて母子バラバラになったそうです。子供に異常があったりすればはなしは別ですが、設備等の問題もあるとは思いますが、できるだけ母子一緒にいられるようにして下さい。

被災時住所: 神戸市東灘区 初産婦  
出産日: 4月5日 妊娠週数: 40週 鉗子分娩  
出産病医院の住所: 明石市

ビタミン剤その他の配布やもっと早くお医者様が避難所へきて下さるとか、その後受ける検診を無料にして下さるとか、大阪へ行ったがけっこう冷たくあしらわれ(うちではみれません)と言われた。受け入れてくれる病院が少ない(私の場合8か月半だったためと思われるが)

被災時住所: 神戸市東灘区 初産婦  
出産日: 4月7日 妊娠週数: 36週 帝王切開  
出産病医院の住所: 神戸市須磨区

とにかく不安だったので私は、いざという時にすぐ診ていただける病院とかを知ろうと思いました。最初は電話が使えなかったのも果たして病院が大丈夫なのかどうかもわからず、もし調子が悪くなったらどうしようと不安で家族にもとても心配をかけました。今回はかつてない災害で非常時だったので、自分のことは自分で何とかしなければならぬと思ってはいましたが、今回の災害をふまえて、このような災害時に地域に密着した救急病院やお医者様の情報、カウンセリングのシステムなどがあってそういうこと知っていればもう少しは安心できたのではないかと思います。

被災時住所: 神戸市東灘区 経産婦  
出産日: 4月7日 妊娠週数: 33週 帝王切開  
出産病医院の住所: 神戸市須磨区

行きつけの医院のカルテがどこでもわかるようになればよいと思う。(難しいとは思いますが…)

被災時住所： 神戸市東灘区 経産婦  
出産日： 4月 8日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

- ・ 水、食糧の確保。
- ・ 休けい室の確保。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日： 4月10日 妊娠週数： 40 週 吸引分娩  
出産病医院の住所： 神戸市灘区

妊娠していたので被災中はお風呂に入ることが4-5にちに1度だったので少しづらかった。たいがい有馬などの温泉だったので妊娠なのでまわりの人の目がきになりゆっくりと入ることがしにくかったです。しかたが無いことなのであの時はがまんしましたがもういやですね。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日： 4月10日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所：

水、食事の援助やボランティア医師の診察等。

被災時住所： 神戸市東灘区 経産婦  
出産日： 4月10日 妊娠週数： 37 週 帝王切開  
出産病医院の住所： 西宮市

情報が不足しがちなので（どの病院が開いているのか診療が可能か否か）など動きがとれずに困った。（妊婦診が1回抜けたのでその間不安だった）

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日： 4月12日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市灘区

ずっと昔から人間は普段の生活の中で出産をしてきたわけですから例外的な難しいお産を除いては電気、ガス、水道などが跡絶えていたとしても何らかの工夫により出産は出来るのだという知恵や安心感を妊婦に与えることは大切だと思います。もちろん緊急事態に素早く対応できる医療システムも必要だとは思いますが医療がなければだめという思いこみや依存をとりのぞき落ち着いて自分と胎児を守る方法を考えられるための情報提供やメンタルなサポートが得られる体制を希望します。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日： 4月13日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市東灘区

- ・ 配給の列に並んでいるとしんどくなったので時間をきめて取りに行けたらと思った。
- ・ 診察をうけれない時は不安だったのでこの病院がみてもらえるのかしりたかった。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日： 4月13日 妊娠週数： 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市灘区

定期検診等を専門で受けてくれる病院があれば有難いと思います。（テレビで開いている産婦人科を探した為）

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日： 4月13日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 尼崎市

もとの病院にも保健所にも連絡が繋がらずどうしようと1週間近く悩みました。情報だけでもほしかったです。1週間後区の医師会によろやくtelが繋がっても「元の医院の先生は無事です」ということしかわからない状態でした。まずどうしていいのかわからないので話の聞ける窓口みたいなものは必要だと思います。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日： 4月13日 妊娠週数： 38 週 帝王切開  
出産病医院の住所： 宝塚市

たまたま安定期に当たったので時に不都合なことはなかったが妊娠初期であれば食事の不便、妊娠後期であれば精神的に不安なことがあったと思います。妊婦専用の相談窓口が医療機関等にあれば心強いと思います。また特に「水くみ」等で援助があれば非常に助かります。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日： 4月13日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市灘区

優先してほしい。

被災時住所： 神戸市東灘区 経産婦  
出産日：4月14日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

ガス爆発の恐れがあるとかで、避難勧告がでたとき、寒い中徒歩で避難しろといわれ、当惑した。お年寄りや乳児をかかえた方（もちろん妊産婦も）はどうしたのでしょうか。言われた通りしただった方や、そうでない方、（じっとしていた方も多かった）いろいろいらして、結局はどうもなくて、寒い中避難された方はバカを見た結果になりましたが、逆に大ばく発していたらどうだったでしょう。もっと、勧告の中身の必要性、どの程度なのかわしくわからなくても最悪の場合どうなるかと詳しく報道してほしいと思います。逃げたくても逃げられない人もいるのですから。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日：4月14日 妊娠週数：41週 自然分娩  
出産病医院の住所： 豊岡市

私の場合、8カ月の時に被災し体は順調でよかったのですが、恐怖のあまり寝不足になったり、不安で不安でしかたなかったり感情的になったりと不安定な状態が続きました。何か心のケアもお願いしたかった。

被災時住所： 神戸市東灘区 初産婦  
出産日：4月15日 妊娠週数：40週 鉗子分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

- ・病院まで安全に行くことができる交通手段の確保。
- ・電話など連絡手段の確保。
- ・安心して出産できるような（緊急時においても）設備や人材の確保。
- ・妊婦の栄養（食べ物の確保）。
- ・赤ちゃんのミルク等の確保。

被災時住所： 神戸市東灘区 経産婦  
出産日：4月16日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

精神面で安心できる様に、ささえてほしいのと、もしの時、安心して出産できる場所の確保と、お医者様による検診をすぐ受けられるようにしてほしいものですね。

被災時住所： 神戸市灘区 初産婦  
出産日：1月18日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市灘区

私は以前からかかっていた病院にあの日の朝すぐに確認できたのですが、情報が、入ってこないなかあちらこちら走り回られた方もいらしたようで本当に恐ろしかったので少しでも情報がえられればと思います。

被災時住所： 神戸市灘区 経産婦  
出産日：1月19日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

私の場合は地震のとき病院（入院中）にいたわけですが看護婦さんが一生懸命お世話してくれたおかげで何もせずに過ごすことができ有難く思っております。……がそのとき暖房が止まり産後だったにもかかわあずかぜをひきかなりしんどいおもいをしました。他の人に比べればなんでもないですがそんなときのためにうすい毛布一枚しかないというなは…と感じております。

被災時住所： 神戸市灘区 初産婦  
出産日：1月19日 妊娠週数：41週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市灘区

出産前よりも出産後のことで心配が多いと思います。（母乳の出が悪くなったときに、人工乳や赤ちゃん用のきれいな水、紙おむつなど、乳児をかかえて区役所などにもらいにいけない）私は地震後すぐの出産だったので安全にしかも食べることやトイレも心配せずにすんだのですが地震の前に退院されていた方々はとても大変だったと思います。

被災時住所： 神戸市灘区 初産婦  
出産日：1月19日 妊娠週数：41週 自然分娩  
出産病医院の住所： 三木市

知人で1/15地震前に出産して〇〇（神戸）での人にはほ乳びんも17本やおむつミルクなど毎日のように（市）からもらえたって言ってました。でも私のように地震にあって陳痛きて神戸市の病院に（なにも今、してあげれないと言われて△△にきて産んだ人ら（けっこう垂水とかからも妊産きてました。）には何一つ別に、もらってません私の方がたいへんな目にあっただのになぜでしょう。でも、ケガもなく無事に出産できた事で良かったと思います。

被災時住所： 神戸市灘区 経産婦  
出産日：1月20日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市灘区

交通手段の確保、マイカーのない人間は医者にいくこともできない。栄養面や衛生面の援助はもちろんだがメンタルケアの必要性を感じた。自分の実家にいてさえ長時間になるとストレスが強かった。一度退院するとなかなか通院もできないので退院するのが怖かった。私のかかっていた医院は産科、内科、小児科をかねて安心できたので。

被災時住所： 神戸市灘区 経産婦  
出産日：1月20日 妊娠週数：43週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市灘区

物質的な援助もさる事ながら、看護婦の方が、大変な中でその大変さを少しも顔に出さずに頑張ってもらえる姿にとっても力づけられました。精神的な事がとても大切に思います。

被災時住所： 神戸市灘区 初産婦  
出産日：1月21日 妊娠週数：40週 吸引分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

今回の地震で出産で入院する予定だったところに連絡がとれず、すごく不安だった。予定日を過ぎていたし陣痛もあったので特にそう思った。119へ電話しても出産に対応できる病院がわからないといわれどうしたらいいのかわからなかった。ああいう災害のときもっと早く対応できる病院の情報があればいいのにと考えた。たとえば、よていしていた病院からしょうかいしてくれるとか、できれば入り口にはり紙でもしてほしい。

被災時住所： 神戸市灘区 経産婦  
出産日：1月22日 妊娠週数：41週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市灘区

身重で自分でははがゆい程動けないので、水、食料の援助を希望します。

被災時住所： 神戸市灘区 初産婦  
出産日：1月22日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

- ・清潔な設備。
- ・入院がスムーズに行えること。
- ・出産後の紙おむつなど最低限の必需品。
- ・安心させてくれるやさしい対応。

被災時住所： 神戸市灘区 初産婦  
出産日：1月22日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所： 氷上郡

精神的援助（不安と恐怖によるものが大きいので）

被災時住所： 神戸市灘区 初産婦  
出産日：1月22日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市灘区

これと言って“ああしてほしい”“こうしてほしい”って言うのはないけど、そう言う時は、おなかに子供がいるので、よけいに、落ち込んだり、考えたりすごく淋しくなると思うので、みんなが優しくしてくれて、話しかけてあげればいいと思う。ぜったい話しかけられたら、うれしいし、心の支えにもなると思う。

被災時住所： 神戸市灘区 経産婦  
出産日：1月23日 妊娠週数：38週 帝王切開  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

衣類などの援助（とくに下着）用意しても間に合わなかった。

被災時住所： 神戸市灘区 経産婦  
出産日：1月24日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

どこの病院が出産をうけいれてくれるかわからず不安であった。又、電話が通じなかったので非常時に救急車さえよべずどうしようかと思った。もっとしっかりした医療体制をとってほしかった。

被災時住所： 神戸市灘区 初産婦  
出産日：1月24日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所： 明石市

私は予定日の6日前に地震にあいとても不安。

被災時住所： 神戸市灘区 経産婦  
出産日：1月25日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

援助としては粉ミルク、紙おむつ、やっぱり地震後店がなくて大変だった。私は1月25日に出産したのですが新生児用のおむつがどこにも売って無くてたいへんだった。

被災時住所： 神戸市灘区 経産婦  
出産日： 1月25日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

今、すぐはどうした方がよいのかをラジオなどで放送して欲しい。また、第2子以降の出産に際し災害では上の子を予定していたところにあずかってもらえないのでその子たちをみてくれるところを放送して欲しい。

被災時住所： 神戸市灘区 経産婦  
出産日： 1月26日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

安心してお産のできる場所（病院）を確保してほしい（水、ガス、電気、食事、スタッフ等）私の場合は地震前にかかっていた先生のご厚意により実家に近い病院を紹介してくださり安心してお産することができました。（地震前にかかっていた病院の色々な状態をみるととてもお産のできる状態ではありませんでした。食事どころか水さえもなくもちろんまっくらでした）

被災時住所： 神戸市灘区 経産婦  
出産日： 1月27日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 姫路市

- ・保健婦の方を派けんして、心のフォローをしてほしい。やはり不安がいっぱいなのだから。
- ・重労働が出来ないので、心苦しかった。
- ・上の子のめんどうを保母さんにみていただきたかった。

被災時住所： 神戸市灘区 経産婦  
出産日： 2月 1日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市灘区

情報が全くつかめず一般の方と車を公園のなかへいれて夜は寒かったのでいっしょにシートをいす状態にして寝たりしていてもお腹がはったりまた今まで以上に気がつかったりと大変でした。

被災時住所： 神戸市灘区 初産婦  
出産日： 2月 2日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市東灘区

私は36週ほどになっていたにもかかわらず、地震の非害をうけていない病院も、診察だけに2週間先の予約しかいれてもらえなかったのも、そのへんをきちんとしてほしい。

被災時住所： 神戸市灘区 初産婦  
出産日： 2月 2日 妊娠週数： 41 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

〇〇病院では大変親切にいただきました出産するような事があれば是非この病院で！と思いました。（心強かったです）ただ出産後ホッと安心して私の場合母乳のみだったせいか大変おなかが空いて食事が少なすぎたように感じます。でも大災害の後だったので、食事があるだけでも感謝できました。水と食事は充分お願いしたいです。

被災時住所： 神戸市灘区 初産婦  
出産日： 2月 6日 妊娠週数： 36 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市灘区

何でも用時をたのめるようなボランティアの方がいてくれたらいいなと思いました。当時33週でしたが大きなおなかで水くみや買い出しなど健康でしたがたいへんでした。つわりのひどい方や安静が必要な妊婦さんも助かると思います。あと問い14のように災害などやむおえないとはいえ途中で病院を変わるのにはさらに不安材料になると思うのでその辺どうにかならないのでしょうか？

被災時住所： 神戸市灘区 初産婦  
出産日： 2月10日 妊娠週数： 36 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市灘区

産婦人科は無料でベッド等を提供すべきと思います。

ex：臨月の妊産婦の早期収容。

新生児や乳児をもつ人への入浴やおむつサービス等。

被災時住所： 神戸市灘区 経産婦  
出産日：2月10日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市灘区

震災後、電話が普通となり、ライフラインが断たれた中、かかりつけ医院に通院することができない場合、（私は臨月にさしかかっていたので）、もし急にお産がはじまったらどうしようという心配で一杯でした。悪くなることも考えられ、結局家にずっといるしかない状況でした。どこの病院で診察、入院を受け入れてくれるのか、交通手段（タクシーetc）がない場合病院までの足をどうすればよいのか（救急車などは負傷者の搬送でもちろん頼めないの）で救急時の相談窓口をラジオ等で教えていただけたらと思います。その他 生活面では 水の確保が非常に妊婦としてはつらいものがあります。飲料水は配給（ペットボトル）等で、助かりましたが、生活用水の給水は「いつ、どこで」というアナウンスが殆どなかったの、苦労しました。

被災時住所： 神戸市灘区 初産婦  
出産日：2月23日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市灘区

災害の際には皆人命第一ですが“小さな命”を宿している妊婦は色々大変です。通院の際には皆〇〇行（病院まで）専用バスを走らせて頂けると有難い。今回の場合道路が渋滞し通院が困難だったので少しでも早く又、安全に。

平常の妊婦でも妊娠中は精神的に不安定な事が多いが、特に災害時には自分の体、又、赤ちゃんの事、生活の事など不安材料が次々と出てきた。診察の際にこういう精神的ケアをして下さるドクターがいらっしやればと思った。

今までの診察ではありませんでしたが、今回の震災時に今までかかっていた病院に診療を依頼したところ（電話でしたが）看護婦が非常に動揺されており“出産の兆しがない限り来院はしないで下さい。”と言われた。被災地であり大勢の患者さんがこられているのはわかっていたが妊娠と同時に診療に通い入退院を繰り返していた私は、私の状態をご存じの先生に診ていただく事が安心なのに見放された気持ちになりとても不安に感じた。診察ができないのならどこか紹介してくれるとか自宅での注意とか言葉が欲しかった。とにかく“来るな”としか感じられなかった。大災害の中、誰もが困惑していただろうが“病気をもった妊産婦”を思いやるひと事がなかったものかと思った。

被災時住所： 神戸市灘区 経産婦  
出産日：2月23日 妊娠週数：38週 帝王切開  
出産病医院の住所：神戸市灘区  
病院までの交通機関の援助と確保。

被災時住所： 神戸市灘区 初産婦  
出産日：2月24日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市西区  
・産後のケア（出産用品の支給等も含む）  
・住居の確保。

被災時住所： 神戸市灘区 経産婦  
出産日：2月25日 妊娠週数：36週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市中央区

今回の場合、車の無い者、遠方に知人のいない者は、避難所という何も無い所に居るしかなかった。配給の重い荷物、全くない食料、（おにぎり1コの日が2日もあった）での空腹、誰も助けてもらえないのですべて自分でやった。やはり、病人と同じようにどこかに別に収容する所を作っておくべきだ。病人ではないが、健康な人とも違う。同じように行動できない。あまりにもつらい日々でしたので。

被災時住所： 神戸市灘区 経産婦  
出産日：2月27日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

今回の地震では病院に通院できなくなり本当に不安でした。出産予定日が近かったこともあってすぐにも診察を受けたかったのですが病院は妊婦検診どころではない状態で行っても診てもらえない状態でした。（救急以外は診られないと断られました）（交通がストップして行きたくても行けないのが現実でしたが）地震のショックで体調をくずしいままで慣れ親しんでいた先生の診察も受けられず不安でいっぱい臨月でした。幸い無事に娘を授かり安堵しましたがもう2度とあのようなことがおこらないよう心から願っています。妊婦さんには「いつでもすぐに病院に行ける」という安心感をもてるような体制を作っていただきたいと思います。（急に産気づいても電車はとまり道路は渋滞で全く動けない状態でした）

被災時住所： 神戸市灘区 経産婦  
出産日：2月28日 妊娠週数：36週 帝王切開  
出産病医院の住所：神戸市北区

交通マヒのため病院まで時間がかかり一刻をあらそうときに困るので救急車等の充実を望みます。

被災時住所： 神戸市灘区 初産婦  
出産日：3月1日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：高砂市

- ・みな様のあたたかい言葉が大変うれしく思いました。

被災時住所： 神戸市灘区 経産婦  
出産日：3月2日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：宝塚市

- ・神戸市民であったため他の市立病院などでは市民よりも健診料金が割高だったので、特別な配慮があればと思った。
- ・他病院の紹介や情報が欲しかった。
- ・心配事の相談所があればと思った。

被災時住所： 神戸市灘区 経産婦  
出産日：3月3日 妊娠週数：38週 帝王切開  
出産病医院の住所：神戸市灘区

私は小学校に避難しなくてすんだのですが、もし、あの底冷えする所に寝泊まりしていたらと思うとゾッとします。また、水道が止まり、エレベーターが動いていない状態で妊婦が水くみをするのは無理だと思います。災害が起こった場合、妊婦に対して具体的にどういう援助があるときまっていたら、心強いと思います。

被災時住所： 神戸市灘区 経産婦  
出産日：3月3日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市東灘区

災害直後の検診費用はできれば公費でみてのらえればすぐに「異常なし」や、「異常があった場合でも早期に発見できる」と思います。（妊婦が精神的に安心できる。）避難先の病院では被災者であることがわかっていたので特に、ていねいに見てくださったのがとてもうれしく思いました。場合によってはその病院（〇〇病院）で出産することも考えていたのですが結果として、もとの病院にて、出産することになり、上記の病院に申し分けなく思いました。病院間の連絡を密にとってほしいと思います。

被災時住所： 神戸市灘区 初産婦  
出産日：3月6日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市西区

電話によるカウンセリングを行ってほしい。

被災時住所： 神戸市灘区 初産婦  
出産日：3月6日 妊娠週数：36週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市西区

- ・ベビーが無事であるか診察してほしい。
- ・出産予定病院が使用できないとき 他院の受け入れ先を紹介してほしい。

被災時住所： 神戸市灘区 経産婦  
出産日：3月10日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：加古川市

医療機関はどれもパニック状態になっていました。水もガスもなく地震は神戸市の下が被害が大きかったのですがそうはなれていない地域での病院は全く被害がなかった所が多かったのになぜ何人も人が死んで行ったのかどうしてたすからなかったのか。

被災時住所： 神戸市灘区 初産婦  
出産日：3月11日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市中央区

もし、非常事態とかになった時、妊産婦や赤ちゃんの事を気にかけて、こちらから連絡しなくてもいろいろな援助をしてくれたらうれしいし、わからない事を教えてくれたり、してほしい。TVやラジオ、チラシ、ポスターなどで「妊産婦の人は不安やわからない事があるなら〇〇に連絡して」とか書いたり、言ったりして、呼びかけてほしいです。

被災時住所： 神戸市灘区 経産婦  
出産日：3月14日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市灘区

- ・妊産婦の救急病院の情報（今回の地震では2-3にちあとにテレビでいっていたように思います）
- ・紙おむつ、粉ミルクの援助。



被災時住所： 神戸市灘区 経産婦  
出産日：3月14日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市灘区

流、早産だけに限らず妊産婦には精神的ダメージがかなり大きくあると考えられるのでカウンセリングなど心のケアも重要視するべきと思う。

被災時住所： 神戸市灘区 経産婦  
出産日：3月15日 妊娠週数：40週 吸引分娩  
出産病医院の住所：神戸市灘区

心配事や不安をあたえないように又家庭の環境のことをもう少し考えておなかの赤ちゃんへの影響をそこなわなおようにお医者さんが妊婦さんの言いにくいことを言いやすくストレスをためないで生活できるような心がけて話して欲しい。

被災時住所： 神戸市灘区 経産婦  
出産日：3月15日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市灘区

地震によりライフラインがストップしガスが2ヵ月も止まりました。お風呂やさんも長い行列ができとても並ぶ気にもなれず有馬の方にまでお風呂にはいりに行きました。妊娠8ヵ月から産むまで自宅の風呂はつかえませんでした風呂には入れなかったことが一番つらかったです。

被災時住所： 神戸市灘区 経産婦  
出産日：3月16日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市灘区

もし、けがなどをしていた場合はもちろん医療が必要で物資援助もありがたいと思いますが精神的なものがすごくおおきいと思います。何かあっても大丈夫という安心感、そこからいいお産ができると思います。

被災時住所： 神戸市灘区 初産婦  
出産日：3月19日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市灘区

水がでなくて不便だったのですがトイレのあとに〇〇病院ではウエットティッシュをかんだふさんがくれました。そういうこまかな心くばりが妊産婦のときほっとした。

被災時住所： 神戸市灘区 初産婦  
出産日：3月19日 妊娠週数：41週 吸引分娩  
出産病医院の住所：神戸市中央区

どうしても病院を変らなくいけなくなった場合でも今までの妊娠状態を詳しく変った病院に伝えたり電話だけでも今までの病院の先生や看護婦さんとお話しでもできれば。

被災時住所： 神戸市灘区 初産婦  
出産日：3月21日 妊娠週数：40週 鉗子分娩  
出産病医院の住所：神戸市中央区

入浴、食料、カウンセリングが出来る所

被災時住所： 神戸市灘区 初産婦  
出産日：3月26日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市灘区

水が止まってしまったとき大きなお腹で水を運ぶのがとても大変でした。あと出産準備等がお店がないために思うようにできませんでした。どうしてほしい……という意見ではありませんが困ったなと思ったことです。

被災時住所： 神戸市灘区 経産婦  
出産日：3月28日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市中央区

いきつけの病院での出産ができるかどうかやその病院の状況を連絡しそのケースによつてのよいアドバイスをしてほしい。例えば、「今うちの病院では検診はできるけど分娩はむりなのでよければ病院を紹介します」等。

被災時住所： 神戸市灘区 経産婦  
出産日：3月28日 妊娠週数：36週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市須磨区

食物アレルギーの子供の食事がすごく大変でした。アレルギーの会などよりおやつは確保できたのですが おかずや、調味料など市外まで行きましたがあまりなくアレルギーがひどくなり 大変でした。

被災時住所： 神戸市灘区 経産婦  
出産日：4月1日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：芦屋市

一番苦労したのが水運びでした。あの重さは妊婦にとって早、流産しそうでした。それと食料。近くのコープには品物がなくなっているしダイエーはなくなっている。うちは主人が警察官なので出勤したままかえれなかったのも車もないし（交通は失われているし）2才前の長男つれて本当に大変でした。救援物資も家が無事な私たちにはもらえなかったのが悲しかったです。妊産婦や小さい子供がいる家にはもっと援助してほしいかったです。

被災時住所： 神戸市灘区 初産婦  
出産日：4月3日 妊娠週数：40週 吸引分娩  
出産病医院の住所：神戸市灘区

今回の地震でミルクや紙おむつの確保が大きな問題となったようなので病院はある程度の予備をしておいても対応できるようにしてほしいです。またそれを妊婦にもPRすべきだと思います。普段の妊婦の方にいざというときの対応の方法や最低限そろえておいたほうがよいものなどアドバイスするのも大切かと思っています。あとは非常時以降の心のケアを一人一人ていねいに聞いていく姿勢が欲しいです。

被災時住所： 神戸市灘区 初産婦  
出産日：4月3日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：姫路市

赤ん坊も含めて、妊産婦は、一般の避難所にお世話になることはとても無理があります。他の市区町村でも、ライフラインが整っていて伝染病のはやっていない所の受け入れができれば、と思います。

被災時住所： 神戸市灘区 経産婦  
出産日：4月4日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：尼崎市

今回震災後病院の状況を聞いて出産が不可能であれば「紹介状」をかいてもらおうと思っていたが簡単に「だめです」「出産はできません」「紹介状もむりです」と断られてしまったのでなんのための大病院かと悲しくなった。子宮筋腫があるので前回も胎盤機能不全であったので大きな病院で出産を予定していたのと思った。せめて病院側は出来る限り患者に対して紹介状を書くなりしかるべき対応をして欲しかった。また自宅（得井）から尼崎（潮江）まで8ヵ月の時に歩かなければならなかったので車でも使えたら……

被災時住所： 神戸市灘区 初産婦  
出産日：4月4日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市灘区

今回のような大災害時

- ・妊産婦はどここの病院へ行けばよいのか早期からメディア等で情報を流すべきだと思います。
- ・寒いときだったので特に妊婦さんには辛い時期でした。診察時もエコー検査時冷たくて寒かったのを思い出します。緊急時の環境調節の工夫をしてほしい。

被災時住所： 神戸市灘区 経産婦  
出産日：4月5日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市灘区

非常事態の早期には、危険回避、体調管理と衛生的な環境の確保でしょうか。（異常があれば安全な場所にある医療機関にすぐ受診できればよいのですが）

晩期にかけては、精神面のサポートが大切なのかな…と思います。地震後、ノイローゼ気味の母が子を手にかけたという記事が新聞にのっていました。妊産婦に限らず出産後の母子に対しても長い目で見ないと、こわいなと感じています。たとえ親族であっても被災した人の気持ちは、絶対他の人には、計り知れないと思います。はっきり言って批判が先に立ち、人事になってるんだろうと感じます。同じ様な体験の近隣がなによりたよりでしょう。

全て、人間がたよりですが、人手がなければどうしようもないでしょう。自分で何とかしないと、情報をたよりに。

被災時住所： 神戸市灘区 初産婦  
出産日： 4月 6日 妊娠週数： 41 週 帝王切開  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

一時的に妊婦を預かってくれるような体制が欲しいです。（安心して妊婦が入れ場所）

被災時住所： 神戸市灘区 経産婦  
出産日： 4月 8日 妊娠週数： 37 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市灘区

水の出ない間の水くみが一番大変でまわりの人達に助けてもらったがストレスをすごく感じたので近くにきた自衛隊の方に少しでも助けてもらえたらと思っていた。

被災時住所： 神戸市灘区 経産婦  
出産日： 4月 8日 妊娠週数： 39 週 帝王切開  
出産病医院の住所： 神戸市灘区

診察に行ったり出歩く際他の人が不信な目を向けたりされることがありました。（バスなども非常に混雑しているため）ですから家にいても診察（内診はむりでも問診とか）が出来るように何かネットワークのようなものが一時期だけでも使えればいいと思います。

被災時住所： 神戸市灘区 経産婦  
出産日： 4月10日 妊娠週数： 37 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市灘区

とても精神的に不安で検診をしていたので日数があつたのでよけいなことばかり考えていたように思います。できるだけ早く検診をしてもらえるようお願いしたいです。

被災時住所： 神戸市灘区 経産婦  
出産日： 4月12日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市灘区

もしも早産になったらどこの病院が受け入れてくれるのか（当時は地震でけがをした人達で病院がパニックになっている話だけで）なにをみてもわからなかった。（数日後にNHKでわかった）時がとても不安でたまらなかった。

被災時住所： 神戸市灘区 初産婦  
出産日： 4月12日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市灘区

身体が冷えないように少しでも温かい場所等、避難所を確保。妊婦に限らず老人、障害者、病人、赤ん坊がいざというときに避難出来る場所を各地域にもうけて欲しい。

被災時住所： 神戸市中央区 初産婦  
出産日： 1月17日 妊娠週数： 41 週 帝王切開  
出産病医院の住所： 神戸市北区

- ・病院内での妊婦の待期室（予備室みたいなところでもいいので24時間対応してくれる施設）で安心できればと思う。
- ・病院の連絡がとれなかったため、あちこち病院まわりをしていたが対応できませんといわれた。ところが多くどこへいけばいいのかもわからなかったので病院どうし無線かなにかで連絡できるようにしてほしい。

被災時住所： 神戸市中央区 初産婦  
出産日： 1月19日 妊娠週数： 36 週 帝王切開  
出産病医院の住所： 高砂市

私は地震のとき妊娠10か月で〇〇病院に入院していました。病院であの地震にありました。それまでは△△病院に入院していましたが早産の可能性があるといわれ3ヵ月も家にも帰れず入院していたのに地震で病院の全てのものがぐちゃぐちゃになったためまた△△病院にもどされました。結果そのほうがよかったのですがそのときの精神的不安がたまらないものでした。それと援助ではやはり入院中の食事が突然、ビスコになつたりラップにつつんだおにぎりだけだったりとひもじいおもいもしたので食事の援助と手が洗えなかつたりトイレの水が流れなかつたりという感じだったので水の援助もほしかったです。

被災時住所： 神戸市中央区 初産婦  
出産日：1月24日 妊娠週数：41週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市灘区

精神的な部分での負担が大きかったため  
安心出来る言葉、環境が欲しかった。遅れ  
るだろうとはいわれていたが地震当日が予  
定日だったのでできがきではなかった。そん  
なとき病院経行くと「いつでも来て大丈  
夫」と言われた時はホットした。とはいえ  
水もガスもないので自分はともかく生まれ  
てくる子供には申し訳ないというか、気の  
毒というか…

被災時住所： 神戸市中央区 初産婦  
出産日：1月27日 妊娠週数：38週 吸引分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

人の手があれば救援物資などから子供に  
必要なものを、集めることはできるけど夫  
婦だけのところなどそういうこともできの  
いと思うので病院（産婦人科）などにもミ  
ルクとかおむつとか優先であつかえるよう  
市町村が考えてくれればと思う。

被災時住所： 神戸市中央区 経産婦  
出産日：1月29日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

「受け入れられない」とか断わるのはや  
めてほしい。それならちゃんと次の対処法  
なり病院を教えてほしかった。情報をあつ  
めにくときせめて今までかかっていた病院  
へ行けばどうにか先が見えると信じていた  
が全く受け付けてもらえなかったのだ。

被災時住所： 神戸市中央区 初産婦  
出産日：1月29日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市須磨区

長期になりそうな場合はライフラインの  
整った安全な地域に避難所をつくっても  
らってそちらへはいるようにする。被災地  
の避難所ではあまりに生活環境が悪すぎ  
る。

被災時住所： 神戸市中央区 初産婦  
出産日：1月31日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：尼崎市

私は、避難所に2日しかいなかったのだ  
ですが、傷人、病人、お年寄りの次に妊婦の  
事に気を付けて欲しい。すごく不安でした  
から…

被災時住所： 神戸市中央区 初産婦  
出産日：2月1日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市中央区

臨月に入っている妊婦はいつ陣痛がくる  
かわからないので10ヵ月通院していた病院  
がダメなら他の病院を紹介してくれるなど  
もう少し病院どうしの横のつながりを広げ  
てもらいたい。この地震で通院している  
病院に行けなかったので他の病院でみても  
らいたいと思ったらtelでも診察だけをして  
もらえなかったのだ。（その病院に行った  
わけではないこと、だれかのしょうかいで  
もないことの為）

被災時住所： 神戸市中央区 経産婦  
出産日：2月5日 妊娠週数：37週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市中央区

- ・10ヵ月にはいっていましたが検診へいく  
のに1時間ほど歩いて病院へ行きました  
陣痛がはじまったらどうやって病院へ行  
こうかと心配しました。

被災時住所： 神戸市中央区 初産婦  
出産日：2月6日 妊娠週数：40週 帝王切開  
出産病医院の住所：神戸市西区

どこの病院があいているとか、全くわか  
らなかったため不安でした。避難所などに  
できるだけ早く医療機関名簿を出して欲し  
いと思います。

被災時住所： 神戸市中央区 経産婦  
出産日：2月7日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市中央区

今回の地震ごすぐ検診に行こうとⅧした  
ら設備が整わないので異常がなければ来な  
いでほしいといわれ不安だった。病院に薬  
がないなどのうわさを聞いてとても不安な  
ときがあった。すぐに検診して分娩設備の  
不安を少しでもとりのぞいてほしい。

被災時住所： 神戸市中央区 初産婦  
出産日：2月11日 妊娠週数：41週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市中央区

- ・交通が寸断され車の渋滞も多かったのだ  
陣痛がきたときにすぐに病院へ行けるか  
不安だったので救急車両を通して欲しい
- ・病院がつぶれていないか診療がうけれる  
かテレビ、新聞で教えて欲しい。

被災時住所： 神戸市中央区 経産婦  
出産日： 2月11日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

- ・ 24時間安心して受け入れてもらえる病院
- ・ 大火災 非常事態にたいしてもどこよりも安全であってほしい。

被災時住所： 神戸市中央区 初産婦  
出産日： 2月18日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

赤ちゃんに対する希望として、ベビー室の赤ちゃんが危険な状態にならないような安全なベビー室にしてほしいと思います。自分ではなにもできない赤ちゃんなので特にそう思いました。

被災時住所： 神戸市中央区 経産婦  
出産日： 2月20日 妊娠週数： 41 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 明石市

地震の後かかっていた病院からただ電話で分娩が出来ないので他の病院で出産してくださいとだけいわれ次の病院も紹介してもらえずとても困りました。神戸ではどの病院も満足に出産出来るところがなく結局検診を受けていた〇〇病院で△△病院を紹介してもらいました。あまりにも〇〇病院は無責任ではないでしょうか。

被災時住所： 神戸市中央区 初産婦  
出産日： 2月20日 妊娠週数： 37 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

この度は通院しておりました病院も最初対応不可とのことでしたので9ヵ月の私はすぐ生まれるようなことになるとどうすればよいのかと？とても不安になりました。ご紹介下さった病院は遠くて行けず近くの所を探すというありさまでした。また、何かあったさいすぐ病院へいこうにも災害時ですのでタクシーなどもほとんど通っておらず一人で動くにはとても難しいものを感じました。こんな災害時は無事出産出来ることの確保が妊婦には安心につながります。

被災時住所： 神戸市中央区 初産婦  
出産日： 2月21日 妊娠週数： 34 週 帝王切開  
出産病医院の住所： 神戸市兵庫区

妊娠すると精神的にあらゆる意味、部分においてとても過敏になります。そういうメンタルな心のケアも（妊娠に限るわけではないのですが）とても必要です。

被災時住所： 神戸市中央区 初産婦  
出産日： 2月22日 妊娠週数： 41 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

今回の地震だけで感想としましては私の場合10ヵ月におこったため週の1回の検診を受けることができず妊娠中毒症にきずくのが遅くなりしんどい思いをしました。体を見ていただくことも大切な診療ですがこういうときは心も一緒に診療していただければすばらしいと思いました。

被災時住所： 神戸市中央区 経産婦  
出産日： 2月23日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 明石市

今回はライフラインの水とガスが使用能になったため水をもらいにでたりお風呂に入れなかったりと妊婦には厳しい状況でした。飲み水はペットボトルで確保できても生活用水までは難しかったので衛生面に気を使いました。赤ちゃんにはある産婦人科で無料で入浴の手配等していました。妊婦にも同様の援助があれば精神面でも安定し早産等を防ぐことができたのではないかと思います。私の場合は幸い実家が近くライフラインも整っていたので予定日に出産をする事ができましたが。

被災時住所： 神戸市中央区 経産婦  
出産日： 2月24日 妊娠週数： 39 週 吸引分娩  
出産病医院の住所： 神戸市灘区

地震後、ガスも水もまだ復旧していないときに一番困った事が、私はお風呂に何日か入浴できずお風呂屋さんが開いているところをうわさで聞いて行くと2・3時間待ちでものすごくしんどい思いをしたので、災害のときは妊産婦だけが入れのお風呂を産婦人科又は病院などにすぐに入れるようにしていただきたく思いました。

被災時住所： 神戸市中央区 経産婦  
出産日： 3月 1日 妊娠週数： 37 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

検診など1ヵ所だけでなくいくつかの場所でやってほしかったし、検診日などを情報機関を通じてもっと教えてほしかった。

被災時住所： 神戸市中央区 経産婦  
出産日：3月2日 妊娠週数：38週 帝王切開  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

私自身は初めから狭骨盤のため帝王切開と決まっていたので非常事態であっても手術が対応できる病院があれば安心。自力で産めないのが破水でもしてしまったら…と不安でした。産まれてから、ガスが復旧していなかったのが赤ちゃんの風呂に苦労した退院後新生児に対してそういう援助が欲しかった。

被災時住所： 神戸市中央区 経産婦  
出産日：3月5日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

大災害の時はけが人の処置で手がいっぱいを出産ぐらい自分でなんとかしてという雰囲気のある公立病院があったことをおなじとくに入院している人から聞いた。わかるような気がするが出産に対する不安を理解してもらって平常時と同じように対処してほしい。

被災時住所： 神戸市中央区 初産婦  
出産日：3月5日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

出産費用の援助。（今回の地震で大変だったから）

被災時住所： 神戸市中央区 経産婦  
出産日：3月8日 妊娠週数：38週 帝王切開  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

幸い今度は精神的、肉体的被害が直接なくもとの病院で予定通りの出産をしましたが妊産婦でしかも子供のいる場合動けないこともあるのでこういうときだけは正式な医師、看護婦でなくてもよいから誰かとりあえずの救急班を呼べるとか事前にもしものときに自分でできることの教育のようなことも通り一遍ではなく必要ではないかと思えます。今は病院にさえいければということが当然で緊急のことを考えていない。

被災時住所： 神戸市中央区 初産婦  
出産日：3月14日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 明石市

妊婦の検査は10割負担等のものもあり負担額が大きいです。地震で他院を受診した際 すべて検査を再検査となったためつらかった。と同室妊婦さんが言われていました。病院の方も、たいへんだと思いますが、ネットワークシステムを使い、負担を最小限にさせていただけたらうれしく思う。私は、2院を受診し、〇〇病院では〇〇医師により△△病院に問い合わせてもらえ再検査せずにすみ助かった。

被災時住所： 神戸市中央区 初産婦  
出産日：3月14日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

私、自身は、医療や援助については、あまり、困ったことがなかったので今まで通りで言いと思います。ただ、検診に行くのに交通の面で少し困りました。

被災時住所： 神戸市中央区 経産婦  
出産日：3月15日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

かかりつけの病院で診てもらえるかななどの情報をすぐわかるようにしてもらいたい。

被災時住所： 神戸市中央区 初産婦  
出産日：3月16日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

- ・ライフラインが断たれて水くみなどが負担になった。
- ・安全で落ち着ける市外などへ避難すること。
- ・育児用品（紙おむつ）の配給などとても助かった。

被災時住所： 神戸市中央区 経産婦  
出産日：3月17日 妊娠週数：41週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

もっと、いろいろな場所にカセツの診療所を作ってほしい。私は、中央区布引町に住んでいましたが、兵庫中学で、仮設の診療所があると知り、診察していただきに行きましたが、いつもの交通事情でなかったため、大変な時間がかかりました。

被災時住所： 神戸市中央区 初産婦  
出産日： 3月26日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

別に異常はなかったがおなかの中の赤ちゃんが心配で一度診て欲しいといったが急用でなければだめだといわれやっぱりあーいう時には、一度先生にみてもらえたらと思う。みてもらうと安心する。

被災時住所： 神戸市中央区 初産婦  
出産日： 3月27日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

- ・粉ミルクや紙おむつ等の確保。
- ・避難所には乳児はつれていけないので、子どもだけでも安心できる所に移動させてほしい。

被災時住所： 神戸市中央区 経産婦  
出産日： 3月28日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 明石市

妊婦には精神的安心出来るようやさしく接する。赤ちゃんの心音をきかせて無事であることを知らせる。産婦には水分、栄養を赤ちゃんのためのミルク、お湯などの確保。おむつも必要。

被災時住所： 神戸市中央区 初産婦  
出産日： 4月 3日 妊娠週数： 37 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

早産で出産してしまうのではないかとという不安が今回一番強く感じたので未熟児をうけいれてくれる体制を数多くして欲しい。（病院の受け入れ体制が十分であるとのおもうだけでも精神的に落ち着くので）

被災時住所： 神戸市中央区 初産婦  
出産日： 4月 5日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 尼崎市

災害時は皆が冷静な判断を下す事がむずかしく、弱い物が置きざりにされやすいので妊産婦の人たち専用の施設を設ける事と一つの方法だと思う。（一般の人と一緒にだと精神的にあしでまといのように感じてしまうから）

被災時住所： 神戸市中央区 初産婦  
出産日： 4月 6日 妊娠週数： 40 週 吸引分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

今回の地震時8カ月の妊婦ではじめてということもあり大変不安いっぱいでしたが私の通院していた〇〇病院では地震後10日目ぐらいだと思いますがあんびをきづかう電話をくれたこと（留守番電話にはいっていましたが神戸を10日ほどはなれていましたがこの病院で産むことを決めたのはこの病院なら安心だと思ったことです。主人は私の実家で産むことをすすめましたが私一人のために部屋もこわれてないということなのに安産教室をしてくれこの心づかいが不安をとりのぞいてくれました。事務的でなくこういったことが妊婦の医療に結びつくのではないのでしょうか。

被災時住所： 神戸市中央区 初産婦  
出産日： 4月10日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

乳児へのおむつ、ミルク、哺乳瓶など必要最小限なものはすぐに配給できるようにしていただけてもらっていただければありがたいと思います。

被災時住所： 神戸市中央区 経産婦  
出産日： 4月11日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

妊婦は、いつも、自分の状態について、不安を感じていると思うので、身近に相談相手がいると、うれしいと思う。だから、避難所などでは、妊婦さんばかり一ヶ所に集めるとか、週一回程度、問診だけでもいいので、医師に来てもらうなどして、不安やストレスが、たまらないようにしてほしい。病院がつぶれた場合は、せめて、でんわがかかりやすくしてほしい。でんわ口に、医師が出て指示してほしい。

被災時住所： 神戸市中央区 初産婦  
出産日： 4月14日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

各病院等にて、ほ乳びん粉ミルク紙おむつ水などを普段から備えてほしい。

被災時住所： 神戸市中央区 初産婦  
出産日： 4月14日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

ラジオ等で、確実にいけば診てくれる病院を知らせてほしい。

被災時住所： 神戸市中央区 初産婦  
出産日：4月14日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市須磨区

配給の栄養面が心配です。(妊婦、乳幼児共) 衛生面でも消毒綿など配布してもらえればうれしいです。(お風呂に入れなため)

被災時住所： 神戸市中央区 経産婦  
出産日：4月15日 妊娠週数：39週 帝王切開  
出産病医院の住所：神戸市灘区

やはりかかっている病院でも気を使わずに必要なに応じてみていただきたいと思います。(そこまで行けない場合などがあると思いますので) 案外かかっている病院へ行くのは勇気がいると思うので。又、金銭的にもむつかしくなる場合は援助が欲しいと思います。通院の費用も分娩のひょうも決してやすくはないと思うので。

被災時住所： 神戸市中央区 経産婦  
出産日：4月16日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市中央区

- ・ 妊産婦の為の食事。
- ・ 今回は入浴、シャワー等。

被災時住所： 神戸市兵庫区 初産婦  
出産日：1月17日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市中央区

心のケアが一番大切だと思います。まず災害後はやむをえかかっていた病院と違う所で出産ということも多々あるのでその時に妊婦はとても不安です。その不安を解消してくれるのが先生や看護婦さんの接仕方なのでそのところを気をつけていただきたいです。私もその1人でしたが先生や看護婦さん、そして同室のかたにはげまされそのお陰で気持ちが軽くなりました。本当に感謝しております。

被災時住所： 神戸市兵庫区 初産婦  
出産日：1月19日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市中央区

- ・ 産院がどのような状態で又 どれくらいの医療をうけるとができるのかという具体的な情報を早い段階でテレビ ラジオでしらせてほしい。
- ・ 私はとても恵まれていた方で病院でも医師や助産婦さん 看護婦さんの最大限の努力で安心して出産することができましたが避難所等で出産された方も同じようなケアが受けられる体制作りがあれば良いと思います。

被災時住所： 神戸市兵庫区 経産婦  
出産日：1月20日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市兵庫区

出産予定日が迫っている妊婦、切迫流産の危険のある妊婦、妊娠中毒症などの妊婦等、特に注意を払うべき妊婦について病院の方からそれらの妊産婦の安否を気づかう連絡、コンタクトをとるべき。緊急時にそれ専用のスタッフを用意して欲しい。そのためには自分の病院の患者の数とその状況を常に把握できていなければならない。私は予定日を1週間後に控えて震災にあいとても不安な日々を送りました。病院は大丈夫か、医師は大丈夫か、市内同士の電話は通じず病院へ直接行くのもすぐには行けず震災2日後にやっと病院は大丈夫、入院もOKと確認がとれるまで不安でしかたがなかった。こんなとき病院のほうから「妊婦は大丈夫ですか？」と問い合わせがあればと思った。

被災時住所： 神戸市兵庫区 初産婦  
出産日：1月21日 妊娠週数：41週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市中央区

産婦人科病院には早急に救護物資を送り医療体制をととのえてほしい。援助も高齢者とともに妊産婦に優先的にすばやく色々な形でおこなってほしい。

被災時住所： 神戸市兵庫区 初産婦  
出産日：1月21日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市中央区

水道、ガス、電気が止まっても大丈夫なようにしてほしい。



被災時住所： 神戸市兵庫区 経産婦  
出産日：1月23日 妊娠週数：34週 帝王切開  
出産病医院の住所： 神戸市北区

私の場合は、1月18日に妊婦検診の予定でしたが、病院に電話すると、外来診療は行っていないとのことでした。結局19日に入院することになりましたが、もし、それ程のことがなくても、地震の直後は、赤ちゃんが無事か、異常はないか、すごく不安になると思います。ですから、できるだけ、外来診療は早く開始してもらえたら、母親も安心できると思います。

被災時住所： 神戸市兵庫区 初産婦  
出産日：1月24日 妊娠週数：39週 鉗子分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

1ヵ所非常時に対応してもらえる医療機関の案内をしてもらえるとところをつくってほしい。どこで分娩可能なのか自分でさがさなければならず、不安だったから。

被災時住所： 神戸市兵庫区 経産婦  
出産日：1月25日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

出産間近な場合、一時的に病院に宿泊できるような設備があれば安心だと思います。というのは今回のように交通機関が被害を受けているといくら近い病院であってもすぐには病院にたどりつけません。夜中の陣痛はタクシーもなく歩くこともできず自分の家の車は道がふさがっていてだせないなどのことがあり地震後は陣痛がきたらどうやって行こうかとずっと心配でした。夏場なら出産後のシャワーは確保していただきたく感じます。

被災時住所： 神戸市兵庫区 経産婦  
出産日：1月25日 妊娠週数：44週 帝王切開  
出産病医院の住所： 神戸市兵庫区

地震後に入院した病院の助産婦さんや看護婦さんがこの大地震にかかわらずとても親切にしていたのでよかったです。紙おしめやミルクが退院してから必要だったので困りました。

被災時住所： 神戸市兵庫区 初産婦  
出産日：1月25日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 赤穂市

体調に異常があった時、例えば急に産気付いた時や、産婦、子供の体調が悪くなった時等の受け付けてくれる病院の情報の提供。

被災時住所： 神戸市兵庫区 初産婦  
出産日：1月27日 妊娠週数：41週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市西区

地震の日、もし生まれそうになったらどうしようという不安でいっぱいでした。どこでもいいから産める病院をさがさなくてはとニュース等で受け入れてくれる病院等の情報を流してほしいです。〇〇病院では先生も助産婦さんもととても暖かく迎えてくださり安心して出産できました。

被災時住所： 神戸市兵庫区 経産婦  
出産日：1月27日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市灘区

- ・かかりつけの医院が使用不能になったり交通の関係上通院不可能になった場合  
すぐに受け入れてくれる病院の情報や(テレビのない避難所や公園では情報が伝わりにくい)移動のための緊急車輛の使用をもっと多くの人にわかりやすく伝えるべき。(自動車も動かぬ場合今回の災害では救急車さえ渋滞で動かなかつた急に陣痛がきた場合最悪自宅または避難所での出産を考えなければならないから)
- ・援助としては物資の流通の動きが悪い災害発生後2-3日の時点での衛生品の援助が必要(水、ガーゼ、おむつ、ナプキン等)特にかたよらないよう全ての人にいきわたらせるようにすべき

被災時住所： 神戸市兵庫区 経産婦  
出産日：1月28日 妊娠週数：35週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

病院は安心、安全というような気持ちをもたせてくれるような医療体制をつくってほしい。

被災時住所： 神戸市兵庫区 経産婦  
出産日：1月31日 妊娠週数：37週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市須磨区

地震の時は、〇〇病院に入院していて、橋がだめになり、とても不安な日々をすごしました。暖房もきれ、食べるものもつめたくて、大病院のシステムがこわれるとあそこまで 非人間的になるのかと思い知らされました。大病院は△△地域につくるのはだめだと思います。どんなことがおきてもせめて新生児室だけは、暖房がきれない、お湯がわかせるシステムを考えるべきです。

被災時住所： 神戸市兵庫区 初産婦  
出産日：2月6日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市中央区

- ・安定期以外の妊産婦を特に優先して診療したり大きな病院であれば先生もしくは助産婦が付き添ってのバス送迎 なども設けてもらえると思心強い。
- ・非常事態などのときの産婦人科料金（入院・お産）は普段の半分くらいか又それ以下に割引して欲しいと思います。

被災時住所： 神戸市兵庫区 経産婦  
出産日：2月6日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：姫路市

精神面で色々とお助けいただくことがとても重大だと思います。

被災時住所： 神戸市兵庫区 初産婦  
出産日：2月10日 妊娠週数：39週 帝王切開  
出産病医院の住所：神戸市須磨区

粉ミルクなどの援助は、あったが おしりふき、紙おしめ（新生児用）の物資がなかなかもらえなかった。

被災時住所： 神戸市兵庫区 経産婦  
出産日：2月11日 妊娠週数：39週 吸引分娩  
出産病医院の住所：神戸市須磨区

非常時でも、検診、出産など 受け入れられる病院が少しでも多くあれば、安心だと思います。私が、出産した時も、まだ水道が使えなかったのですが、病院内は、常時使えるようにはできないのでしょうか？ 〇〇産婦人科では、1日に2回水を流してくれました。これはとても助かりました。

被災時住所： 神戸市兵庫区 経産婦  
出産日：2月12日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市須磨区

地震によって 交通事情などが悪くなり いままで通う医院になかなか行けず、けどおなかの子供が気になった時、近くの避難所（中学校）で、ボランティアによる検診が行われる事を知りとんで行きました。診てもらおう事ですごく気持ちが落ちつき感謝の気持ちでいっぱいになりました。

被災時住所： 神戸市兵庫区 初産婦  
出産日：2月13日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市須磨区

今回通院していた医院との連絡がとれず、結局、主人が単車で病院まで調べに行きました。大病院だけでなく、個人病院まで、診療が可能なかどうか、発表して欲しい。あと、交通手段もできればおしえてほしい。

被災時住所： 神戸市兵庫区 経産婦  
出産日：2月14日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市兵庫区

ライフラインが元に戻るまで設備のとのった所で安心してすごせたら良かった…。（水くみがたいへん）

被災時住所： 神戸市兵庫区 経産婦  
出産日：2月14日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市須磨区

食べ物よりも 妊娠中は寒さの方が体にこたえた。暖かさだけは確保してほしい。

被災時住所： 神戸市兵庫区 経産婦  
出産日：2月15日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市須磨区

妊婦は、災害にあうととくに不安になるので、赤ちゃんが元気ががどうしてもきになるのではやく内しんができるようにしてほしい。

被災時住所： 神戸市兵庫区 初産婦  
出産日： 2月20日 妊娠週数： 40 週 帝王切開  
出産病医院の住所： 神戸市兵庫区

幸いにも、出産の通日前に、水も、ガスも出るようになり、退院した後、家に戻れました。ずっと、行っていた病院も、無事で、こまるようなコトはありませんでしたが、正反対の人もいましたので精神的にもたいへんだったと思います。入院中、病院ではガスが、まだ、だったので食事の面では、少しこまりましたが、そのおかげか、すっかり体重が戻りました。

被災時住所： 神戸市兵庫区 経産婦  
出産日： 2月23日 妊娠週数： 41 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

- ・病院の情報がすくなかった。
- ・アトピーの子に対してのミルク セッケンなどの配布。
- ・おふろがぜんぜんなかったので不便した

被災時住所： 神戸市兵庫区 初産婦  
出産日： 2月26日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

子供用の水の心配をしなくてもいいように、保存できる水をもっとたくさんほしかった。

半壊・全壊には入院費の援助があると聞いていたけど、退院の時、何もしてくれなかったのが、今だに疑問が残っています。

被災時住所： 神戸市兵庫区 初産婦  
出産日： 2月27日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

やはりお腹に一人の命がはいっている以上ゆうせんでいつでも病院がたいおうしてほしいですね。

被災時住所： 神戸市兵庫区 経産婦  
出産日： 3月1日 妊娠週数： 41 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

すぐに検診してくれることを望む。  
テレビやラジオなどで病院名をすばやく知らせて欲しい（診てくれる所）

被災時住所： 神戸市兵庫区 初産婦  
出産日： 3月3日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 伊丹市

私は関係ないのですがある病院に入院していた人は震災後水の出ないためもく浴や食事などで満足な処置もしてくれず7日間のところを5日間で家に帰されたのに入院費は非常に高かったと不満に思っている人がいました。水不足、物不足のときは仕方ないにですがせめて金銭面でのサービスをしてもらえたらと思います。又母乳マッサージの仕方やおむつの替えかたも教えてもらえなかったそうです。私は〇〇病院は最高によかったと思う。安心して退院後も生活できました。

被災時住所： 神戸市兵庫区 経産婦  
出産日： 3月4日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

今回救援物資で少々、粉ミルクと紙おむつをいただきとてもうれしかったです。でも粉ミルク等「とりあえずもらって誰かにあげたらいい」という様な方もならんでおられて大きなお腹でならんでいてとてもつらかったです。配る方法もがもう少しいいようにならないのかなと思いました。

被災時住所： 神戸市兵庫区 初産婦  
出産日： 3月5日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 明石市

体育館や公園でも寒いところばかりで、トイレは近くなり大変でした。みな我先にとまっとをしきつめて陣取り妊産婦の事など考えられなかったみたいです。避難所の方でもっときっちり出来れば平等だったのでないでしょうか。

被災時住所： 神戸市兵庫区 経産婦  
出産日： 3月6日 妊娠週数： 37 週 帝王切開  
出産病医院の住所： 神戸市兵庫区

医療は、べつに言うことはないんですが、援助なら食べ物や水それからお金も援助してもらいたかった。それは銀行に入れてる人は、いいけど、中には家にお金を忘れたまま、避難をして、焼けてしまった人、どろぼうに入られた人いろいろいたのでお産のお金がなくてすごくこまった。

被災時住所： 神戸市兵庫区 経産婦  
出産日： 3月7日 妊娠週数： 37 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

上の子供がまだ2歳に満たない幼児の場合 早産の為に入院する事になりずい分まわりの人にお世話になりました。突然の地震で家も全壊し母子共にという生活ができませんでした。入院期間2カ月足ずの間上の子供に会うことができなかつたので、もう少し設備的になんとかなればと思いました。地震のショックもかなりあり母親として、子供の心のケアを必要とする時期でもあったからです。

被災時住所： 神戸市兵庫区 経産婦  
出産日： 3月12日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

私は比較的元気にしておりましたので妊婦であるからという特別な援助は必要ありませんでした。ただ、早い時期に検診を受けたのでかなり安心して後を過ごせましたので早い時期の検診はひつようであると思います。

被災時住所： 神戸市兵庫区 経産婦  
出産日： 3月13日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

体が冷えないような避難所の設備があればよい。バランスのとれた食事（それにかわるビタミン剤のようなものでも）がとれるようななっていれば安心。

被災時住所： 神戸市兵庫区 経産婦  
出産日： 3月13日 妊娠週数： 41 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市兵庫区

- ・検診費用を免除して欲しい。（非常事態の1カ月間くらい）
- ・妊産婦への電話でのケア。（今どんな状態か、どんな事を心配しているか）

被災時住所： 神戸市兵庫区 初産婦  
出産日： 3月15日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

水、電気、ガスが断たれたことがすごく不安でした。中でも水、衛生面でも妊産婦、新生児にはとても重要でヒシヒシと身にしました。お風呂に入れないので妊婦だった私は震災直後8カ月だったのですがやはり清潔にかけてしまってカンジタ病になりかけ赤ちゃんに影響しないか心配しました。妊産婦が不安にならないよう適応される情報を沢山希望します。

被災時住所： 神戸市兵庫区 初産婦  
出産日： 3月15日 妊娠週数： 37 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

やはり、お水がないと フケツになりやすいのでとくに妊娠中はデリケートなのでそのへんのことを考えてもらいたい。

被災時住所： 神戸市兵庫区 経産婦  
出産日： 3月17日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市兵庫区

産婦人科も災害時にはライフ・ラインをもっと充実してほしい。

被災時住所： 神戸市兵庫区 経産婦  
出産日： 3月20日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市兵庫区

それまでに診てもらったことのない病院でも、検診、異常があった際に、すぐ対応してもらえること。水道、ガス、電気がストップした場合、急な分娩に対してどう対処するか、その場合、産婦人科のみの、特別な医療きかんをつくってほしい。

被災時住所： 神戸市兵庫区 経産婦  
出産日： 3月22日 妊娠週数： 39 週 帝王切開  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

救急でみてもらえるところがわからない。ラジオでも放送してもらえれば……

被災時住所： 神戸市兵庫区 経産婦  
出産日： 3月22日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

ケガ人も大事だと思いますが妊産婦はつねにおなかの子供が心配なので検診をママにしてくれるとか神経的にもおちつく様にしてほしいです。

被災時住所： 神戸市兵庫区 経産婦  
出産日： 3月27日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

近くの避難所でも超音波診断などの器械  
をすぐに使えるようにしてもらいたい。

被災時住所： 神戸市兵庫区 経産婦  
出産日： 3月30日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

やはり、“出産”という段階が秒読みと  
なっている臨月の妊婦はもちろん、私の様  
に、早産傾向のある妊婦にとっては、かか  
りつけの医院以外での検診等が万一の場合  
においても受けられる事がとてもありがた  
い事です。幸いこの度は不都合なく出産で  
したが、私の知人で自宅にて自力で1/17当  
日出産された方がいます。助産婦さんが救  
急に出勤できる態勢が必要である時もある  
のでは、と思ったり致します。

被災時住所： 神戸市兵庫区 初産婦  
出産日： 4月3日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市兵庫区

- 1.お風呂→水道とガスがなかなかでなくて  
お風呂に入れず困りました。一度近所  
のお風呂やさんに並んではいったのですが  
寒い風のなか長く待って中に入ると着替  
えも含めて20分でなくてははいけない状  
態でした。おなかの大きい妊婦にとっ  
ては大変でした。
- 2.地震直後→病院の入院患者にかんづめが  
でたんです 妊娠中毒症の人にもあんな  
塩辛いものがでたことを聞いておどろき  
ました。緊急時にだせる食事を用意して  
いてほしいです。

被災時住所： 神戸市兵庫区 経産婦  
出産日： 4月3日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 尼崎市

母子手帳がどの都市でも同じで検査結  
果、状況などすぐにわかつようにまってい  
れば良かった。私の場合は〇〇病院だった  
ため電話連絡もできない状態だった。検査  
の料金を取られた後検査を地震の後受ける  
ことになっていたの、結局又、違う病院  
で料金を払った。検診にかかる費用又は医  
師の派遣をしてほしい。

被災時住所： 神戸市兵庫区 初産婦  
出産日： 4月5日 妊娠週数： 39 週 帝王切開  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

私は地震の時は8カ月目にはいったところ  
で2週間後検診だったのですが、病院が  
復旧していないということで、特別異常が  
なければ、1カ月後に検診を受けて下さい  
とのことでした。やはり自分で異常がある  
かどうかは判断しにくいし、何も起こらな  
いふだんでも妊産婦は不安になるだろうと  
思うので、安心できるようにしてほしい。

被災時住所： 神戸市兵庫区 経産婦  
出産日： 4月7日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 明石市

今回の地震で感じたことは被害を受けて  
いない市外の病院が活躍されたのはよく  
知ってますが、〇〇市内のある救急病院で  
イヤイヤながらの電話対応と 場所説明で  
目印の物が夜だから見にくいけれど来れる  
んなら診てもいいというような言い方をさ  
れたのがとても腹立たしくますます不安な  
状態に追い込まれたのを覚えています。公  
立病院だけでなく私立病院も広い範囲で受  
け入れて欲しいし、どこの病院へ行けばい  
いのかというような情報をより早く確実に  
ながして欲しいと思います。

被災時住所： 神戸市兵庫区 初産婦  
出産日： 4月9日 妊娠週数： 41 週 帝王切開  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

今回の地震の時〇〇病院の出張検診を受  
けていたのですがとても助かりました。

被災時住所： 神戸市兵庫区 経産婦  
出産日： 4月10日 妊娠週数： 38 週 帝王切開  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

テレビなどで出産できる病院などの情報  
が今回の地震でもあったのでさほど動揺し  
なかったのですが情報はほしいです。

被災時住所： 神戸市兵庫区 経産婦  
出産日： 4月13日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 養父郡

水やガス、電気など止まってしまった時病院での診療が妊婦の場合むずかしいように思う。でもエコーでおなかの赤ちゃんを見ていただけたので、少し安心したのを覚えてます。あと水くみが出来ないのが困りましたので水くみボランティアの方がおられたらとても助かります。妊娠中はけっこう気が張ってたのでいいのですが出産後少し落ちついた頃に心のケアをしてほしい。

被災時住所： 神戸市兵庫区 経産婦  
出産日： 4月21日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市兵庫区

特に精神的ケア。（はげましというよりこちらの話をきいてそれに一生懸命こたえてくれる姿だけでどうであれ自分も頑張ろうという気持ちになります）

被災時住所： 神戸市長田区 初産婦  
出産日： 1月18日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市西区

救急で〇〇病院へいったが急な子供の発熱を考えると通うに通いにくい。交通機関は全くだめだし病院もパンク状態で不衛生。そこに生まれたての子供は連れていけないので不安でした。今の所まだ、体調をくずしていないのでいいができればそんな近くに病院それも赤ちゃんOKのところがあれば…と思います。

被災時住所： 神戸市長田区 経産婦  
出産日： 1月21日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

出産間じかな人は特にこころのケア。それと安全な場所へのゆうどうを希望します。

被災時住所： 神戸市長田区 経産婦  
出産日： 1月21日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市西区

ミルク、紙おむつなどの援助。

被災時住所： 神戸市長田区 初産婦  
出産日： 1月21日 妊娠週数： 41 週 帝王切開  
出産病医院の住所： 神戸市北区

検診を受けていた病院が地震のため診療及び出産できなかったのですごく不安だった。精神的不安がずっとあったので 緊急の連絡場所があれば それを利用して安心して出産できたのでは…他の病院への連絡、転院など（私は自分で連絡した。紹介書もなし。）

被災時住所： 神戸市長田区 初産婦  
出産日： 1月25日 妊娠週数： 40 週 吸引分娩  
出産病医院の住所： 神戸市長田区

・水の確保を第一に考えていただきたい  
新生児が、毎日、お風呂に入れないのは、可憐想です

被災時住所： 神戸市長田区 経産婦  
出産日： 1月27日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 姫路市

その時の状態（体の異常や周囲の環境の変化）に即対応できるような医療面・精神面の充実。県や市からの要請がなかった等の理由で援助の足踏みをするのではなく、直接病・医院との連絡をとり、必要な援助ができるようになればよいと思う。また、空からの交通手段の必要性も重要。地震が起きた後、出産した病院以外に1度検診を受けたが、その時に医師の対応が適切でなかったと思う。（地震前に検診を受けていた医院で出産したいと申し出たら、そこでの受診を拒否された。）

被災時住所： 神戸市長田区 初産婦  
出産日： 1月30日 妊娠週数： 37 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

・学校（その他）に避難しているときに不安になったりしたので病院の先生（産婦人科）にきていただければすこしでも落ち着くと思います。

被災時住所： 神戸市長田区 経産婦  
出産日：1月30日 妊娠週数：37週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

私の場合臨月だったのでその病院で生めるかどうか分からない状態でもっと情報を流してほしかった。（電話もつながらなかった）それと生んでからのことなのですが水も出ない、暖房もきかないところであるときは本当に寒かったのですが母親はがまんすることは出来ましたが生児の子供たちは毛布にくるまっておむつをかえるときなどもふるえていました。やはり赤ちゃん優先に部屋を暖かくするなどしてほしかったです。

被災時住所： 神戸市長田区 経産婦  
出産日：2月1日 妊娠週数：42週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

お腹の赤ちゃんの事が一番心配ですので目に見えるものではないので、安心して夜間、休日 非常事態においても診察してもらえる場所がこんな時だからこそあればいいと思いました。

被災時住所： 神戸市長田区 初産婦  
出産日：2月3日 妊娠週数：41週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

地震でガレキの中に、うまっていたので救出されてから 近くの総合病院に行きましたが、婦人科の先生がおらず、察してもらえませんでした。それから、かかっていた病院にも行きましたが同じでした。ケガをされてる方も、もちろん大切ですが、婦人科の先生も必要だと思います。私が見てもらえたのは3日後でした。交通機関もマヒしてしまうので、どこの総合病院でも婦人科の対応ができたと思います。

被災時住所： 神戸市長田区 初産婦  
出産日：2月3日 妊娠週数：38週 帝王切開  
出産病医院の住所： 神戸市西区

心の不安から影響はないのかなど身体は健康であってもおなかの中はわかりません。避難所や仮設の場所での定期検診又は、電話での相談などできるなどしていただけたら安心できると思います。

被災時住所： 神戸市長田区 経産婦  
出産日：2月4日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

臨時の診察所を一早く設定してほしい。

被災時住所： 神戸市長田区 経産婦  
出産日：2月5日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市西区

妊婦が安心して出産できる体制を常に備えていてほしい。（たとえば、水道、ガス、電気など）

被災時住所： 神戸市長田区 初産婦  
出産日：2月7日 妊娠週数：39週 吸引分娩  
出産病医院の住所： 神戸市長田区

避難先には妊婦さんのために検診をすぐにもしてもらえる所を必ず設置すべきだ。エコーをしてもらわないと不安。（しばらくはお腹の中の赤ちゃんのことが心配でしかたなかった）

被災時住所： 神戸市長田区 経産婦  
出産日：2月9日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所： 加古川市

たいていの病院は、何週以降の分娩は受け入れないことになっていたので非常時でも37Wの分娩予約ができるかすごく不安だった。一時は、自宅かマイカーの中での出産も考えた。地震の次の日、やっと通じたTELで〇〇病院にかけたが、“分娩がこちらでできるかどうか分からない”と。今までずっと長い待ち時間も頑張って通院してたのにもかかわらず、別の病院の紹介もしてくれもせず、全くどうしたらよいかとほうにくれた。倒壊してパニックしてるのもわかるけど、“他で分娩できる病院を自分で探してほしい”ぐらいの返答はしてほしかった。前の病院で全ての検査を終えていたのに、カルテが持ちだせず、分娩を受け入れてもらった病院で、再度血液から検査のしなおしで、痛い思いも2倍だし、それよりも何よりも、保険がきかない自費払いの出費も倍になったことに不満をおぼえている。前の病院で母親教室、両親教室も受けて立ち合い分娩をする予定だったのに、勝手も違い、何もかも違う環境で、ただでも不安いっぱいのお産なのに、立ち合い分娩ができず、不安だったし、残念だった。でもぶじお産させてもらっただけでも感しゃしなければと思いつつ…

被災時住所： 神戸市長田区 経産婦  
出産日：2月10日 妊娠週数：37週 帝王切開  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

私は出産前から帝王切開だと思っていましたので心配はいっさいなく、出産できました。

被災時住所： 神戸市長田区 初産婦  
出産日： 2月13日 妊娠週数： 31 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

非常事態のばあいはできるだけ自分の体  
まわりに大きくおもしろいものはおかないこと  
とストレスがとてたまっている人やノイ  
ローゼになりやすいのでできるだけそうだ  
んによってあげて下さいね。

被災時住所： 神戸市長田区 経産婦  
出産日： 2月14日 妊娠週数： 39 週 帝王切開  
出産病医院の住所： 神戸市北区

正確な情報、安心できる施せつのかく保  
(食事・水・冷暖房等) 妊産婦に対する事  
情聴取 (安否等)

被災時住所： 神戸市長田区 経産婦  
出産日： 2月16日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 尼崎市

とにかく安心して産めるかということが  
大事だと思います。病院と連絡がとれな  
かったのがとにかく不安でしたのでその辺  
りをなんとかしてほしかったです。

被災時住所： 神戸市長田区 初産婦  
出産日： 2月21日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市灘区

ガス 電気、水道がとまっても病院では  
大丈夫な様にしてほしい。

被災時住所： 神戸市長田区 経産婦  
出産日： 2月23日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

電気がついていたので、自宅でテレビで  
〇〇病院が出産可能でニュースが流れたの  
で精神的に楽だったけど 電気がstopする  
と電話がつかえなかったのでパニックして  
いたと思う。トイレの水くみはマンション  
だったので エレベーターが使えず不便  
だった。

被災時住所： 神戸市長田区 経産婦  
出産日： 2月24日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

地震直後、無料検診にしてほしかったで  
す。

被災時住所： 神戸市長田区 経産婦  
出産日： 2月25日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

産まれる子供のものや私は水道もガスも  
出ていなく沐浴にたいへん苦勞しました。  
病院でも産湯もありませんでした。お風呂  
やせんたくが出来ないので衣類やおむつ。

被災時住所： 神戸市長田区 経産婦  
出産日： 3月1日 妊娠週数： 37 週 帝王切開  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区  
避難できる場所を確保すること。

被災時住所： 神戸市長田区 初産婦  
出産日： 3月2日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

健診がなかなかできなかったの、い  
つ、どこで健診をやっているかの情報がほ  
しい。

被災時住所： 神戸市長田区 初産婦  
出産日： 3月5日 妊娠週数： 33 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

水や食べ物の援助をゆうせんにしてほ  
しい。(水をもらいに行けずにくろうし  
た)

被災時住所： 神戸市長田区 初産婦  
出産日： 3月6日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

安心して、何か異常が体に起こった時、  
処置してもらえる大きな病院 (入院設備)  
が、何ヶ所かあればいいと思います。ま  
た、妊産婦を病院などに、移動させる時の  
車の手配などがスムーズに行なえるルート  
が必要だと思います。



被災時住所： 神戸市長田区 経産婦  
出産日： 3月 6日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

地震のあと、ガスや水道が止まったので、お産を受け入れられないと言われてたり、交通手段がないので通えなかったり、不安でした。今のお産は、病院で、医療器機に囲まれて、出産しますが、多少、産婆さんの様に、お医者さんの方が、通えない産婦さんの所へ行ってみるとか、内診や、ドプラーだけでもしてもらえたら、もっと安心できたと思います。青空病院とまで言いませんが、テントでやるとか、それを、ラジオで広報するとか、もっとすばやく、対応してほしいです。

被災時住所： 神戸市長田区 初産婦  
出産日： 3月 7日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

- ・精神的に落ち着けるような環境にあること。
- ・水道が使えること。

被災時住所： 神戸市長田区 経産婦  
出産日： 3月 7日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

- ・まず心配したのが通院していた病院で出産出来るのかどうか。衛生面で心配だったので子供を正常に分娩し、母乳で育てるという事を強く思いました。しかし避難して来た実家では、なかなか、食事に困り、おなかが張ってしまうので、2才の上の子供を連れて、1時間またないともらえない水くみが出来ないのを腹立たしく思いました。
- ・出産できる病院の確保、そこまでの交通手段の確保
- ・食事もレトルト・缶詰ばかりだと塩分の摂りすぎにないしよくおなかが張っていた様に思うので、出来るなら交通規制をして、災害のない所へ避難する、させるのが一番だと思う。母子手帳を許可証にして。

被災時住所： 神戸市長田区 経産婦  
出産日： 3月 8日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

本当に幸いなことに地震後も断水とガスが止まったけれども実家にいることができて（里帰り出産）父が車を運転できるので同じ病院に通い続けることが出来ました。そしてその〇〇病院でもああいう状況にしては最善の対応をしていただけたと思います。

被災時住所： 神戸市長田区 経産婦  
出産日： 3月 9日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市兵庫区

新生児に対する、ミルク、清潔な水、確保してほしい。産院と自分とは信頼関係でつながっていることが今回つくづく感じられ万が一、その信頼していた病院などがダメな状態になったときの妊婦はなぜか精神が不安定になりがちなので心のケアなどをお願いしたいです。

被災時住所： 神戸市長田区 経産婦  
出産日： 3月10日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

私は地震当日切迫早産で入院していました。もしもあのとき水も電気もないところで未熟児が生まれていたら…と思うと今でもぞっとします。「もし今生まれたら助からないかも…」といわれましたしこういうときには他の病院に移すことがスムーズに出来るよう横のつながりを日頃から大切にしたいと思えます。（コンピューター、ネットワークを使うとか情報をまとめることが必要だと思います。

被災時住所： 神戸市長田区 初産婦  
出産日： 3月11日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

緊急に分娩、入院、診察を行える施設の案内。（テレビ等）

被災時住所： 神戸市長田区 初産婦  
出産日： 3月13日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

助産婦さんや保健婦さんがまわってきて  
くださいました。話をきいていただくだけ  
でとても安心しました。私はそうだったの  
ですが他の人はおむつの救援物資のことや  
粉ミルクのことの連絡がいかず不便な思い  
をした人がたくさんいたようです。そうい  
う連絡や助産婦さんたちちもじゅんかいがあ  
るといいです 水や火がなく粉ミルクを作  
れずこまるのでお湯のしきゅうなんかある  
といいと思います。

被災時住所： 神戸市長田区 初産婦  
出産日： 3月14日 妊娠週数： 41 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

入浴ができなかったことで、体が冷え  
て、妊しん後期だったこともありかいだん  
を上げるのに足があがらなくなる車からお  
りられないなどしんどかった。そして、出  
産前にカゼをこじらせてしまい、出産が重  
くなった。

被災時住所： 神戸市長田区 初産婦  
出産日： 3月20日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 明石市

自分の場合もそうであったけど初めての  
妊娠の方だったら普通でも不安なのに今回  
の様な災害があったらなおさら不安だと思  
う。物資の援助も必要だが心の支えが一番  
必要だと思います。

被災時住所： 神戸市長田区 経産婦  
出産日： 3月20日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市西区

- ・ 安静、清潔、栄養等の確保。
- ・ 心理面でカウンセリング等。

被災時住所： 神戸市長田区 初産婦  
出産日： 3月20日 妊娠週数： 41 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

診察、相談、物資などをうけられる機関  
等の情報を確実に広報していく手だてを考  
えてほしい。

被災時住所： 神戸市長田区 経産婦  
出産日： 3月21日 妊娠週数： 38 週 吸引分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

私は、4人目の子供がお腹にいました。  
上の3人はまだ小学校にも入っていない幼  
児で避難所に行くことすら大変でした。私  
は祖母がなくなり祖父も9時間うまって  
いて近くに住んでいた私達が全部助けたり、  
しないといけなかったのですが、体を動か  
すだけでとにかくお腹がはっては涙が  
止まりませんでした。お薬を頂いてずっと  
毎日飲んでいました。食べ物を頂くために  
並ぶ事も子供が小さいのと自分が体が思う  
様に動かないのとで、できませんでした。  
妊産婦には特別並ばなくても食べ物が頂け  
る様にしてほしかったです。もっとすぐ動  
いて頂ける方達がボランティア等してほし  
かったです。

被災時住所： 神戸市長田区 初産婦  
出産日： 3月22日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 明石市

- ・ 交通の寸断→こういう事態発生のさいに  
は近所の〇〇病院で、というシステムを  
未然に決めておく。

被災時住所： 神戸市長田区 初産婦  
出産日： 3月23日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市西区

季節にもよると思うけれど、もし、冬で  
そういうことがあれば、体があつたかくな  
るもの。などがいいと思います。

被災時住所： 神戸市長田区 初産婦  
出産日： 3月25日 妊娠週数： 37 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

家がもし被害にあり、住めなくなった  
時、妊産婦は不安になるもの、（特にお産  
が近い人達は、安全な病院へすぐ入院で  
きる様にする）その人達がずっと落ちつい  
ていられる場所・ミルクやおむつなども必  
要。赤ちゃんを入浴させる設備・でもやは  
り、水がでなくなると、バケツ両手に配給  
にならぶのが妊産婦にとってつらいので、  
水の援助は絶対です。

被災時住所： 神戸市長田区 初産婦  
出産日： 3月26日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市西区

幸い 私自身は家が全壊したもののあまり  
こわいおもいをしなかったのですが、精  
神的にダメージを受けた場合（その瞬間）  
出産まで影響がないか。不安、心配が残る  
と思います。そういう人達に対してカウ  
セリングなどが必要だと思いました。

被災時住所： 神戸市長田区 初産婦  
出産日： 3月28日 妊娠週数： 38 週 吸引分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

お湯、ミルク、おむつ（紙）などの援助  
（私も、紙おむつの援助を受け、非常に助  
かった）

被災時住所： 神戸市長田区 初産婦  
出産日： 4月 1日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市西区

母乳がでない人のために、粉ミルクや紙  
おむつ&布おむつなど少しでもていきよう  
してあげてほしい。少しの間だけでも出産  
費など少しさげてほしい。

被災時住所： 神戸市長田区 経産婦  
出産日： 4月 2日 妊娠週数： 39 週 吸引分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

今回は 幸い〇〇さんが診て下さって  
ホッとしました。もし、壊れていたらか  
かりつけの医師より、他院を紹介して頂  
けると、心強いと思います。

被災時住所： 神戸市長田区 初産婦  
出産日： 4月 4日 妊娠週数： 40 週 帝王切開  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

災害が出産直前であつたらどんなにか不  
安だと思う。もし通院している病院での診  
療ができないのなら病院から他院を紹介  
してほしい。

被災時住所： 神戸市長田区 経産婦  
出産日： 4月 5日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

やはり被害にあつた人には心からの一言  
がうれしいものです。

被災時住所： 神戸市長田区 経産婦  
出産日： 4月10日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

身体を冷やさないための暖房寝具、衣類  
等。すぐに診察や相談が受けれる機関を  
もっと身近に多数あればいいと思う。交通  
機関が正常でないので遠くに行きにくい。

被災時住所： 神戸市長田区 経産婦  
出産日： 4月11日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市兵庫区  
紙おむつ、ミルク等の販売。

被災時住所： 神戸市長田区 初産婦  
出産日： 4月14日 妊娠週数： 36 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 明石市

病院から病院への連絡が必要一〇〇産婦  
人科へはとびこみではいって前の病院で受  
けた検診も1からやりなおしでお金がかか  
ったため。入院によつても病院によつて金額  
が違ふので不安がある。

被災時住所： 神戸市長田区 経産婦  
出産日： 4月15日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

今回のような事態にでもすみやかに対応  
できる医療施設が各区があれば安心感がも  
てると思う。新生児、妊婦にとってガス、  
水道、電気が不通の生活は大変な状態だ  
たと思います。

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日： 1月17日 妊娠週数： 41 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

私の出産した〇〇病院は、被害が少なかつたものの、激震区だったので近所の人々の救助に行ったり避難されている人々で病院はてんやわんやだった。私は3人目の経産婦なので不安はそんなになかったが、結局、その日（地震の日）の夜に出産した。スタッフたちは暗い中、かい中電灯をたよりによくかんばってくれた。しかし、入院中の1週間、病院に来られないスタッフもいたり、人手がたりないのか、薬を忘れられたり、何かと忘れられたりで仕方ないとわかってるがとても不安だった。ベビーも産まれてすぐ夜中も私と一緒にだったので寝不足でとてもイライラ不安がつのつた。とてもいやな入院生活だった。スタッフも大変だとわかってるが、思い出したくない入院生活だ。もっといたわって（母も子も）くれたら…と思う。けれど、この病院は産まれると花束のカゴをプレゼントしてくれるのだが、今回は、だめだなと思っていたら、バラ1輪とカードを看護婦から頂いた。（こんなんでごめんね…と言って…）とてもとても涙が出るほどうれしかった。このように、どんなに大変な中でも、1人1人患者に対する誠意を失わないでいてほしいと願います。

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日： 1月17日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

医師や看護婦、さらに妊産婦自身も、『妊産婦は病人やケガ人ではない』という考えが心のかたすみにあるのではないかと思います。そういう考えからくる遠慮や疎外感をやわらげてくれる医療を望みます。

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日： 1月19日 妊娠週数： 41 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

地震後病院は一体どうなったのか電話がどこにも通じず不安だった。予定日を過ぎていたので、とり合えず病院に行こうとしたが、交通がストップ、道路には車が動けないくらいいっぱい、不安だった。病院で水が使えなかったのが大変困った。ご飯ももっと温かいものが欲しかった。だれもお見舞いに来るひまがなくさみしかった。おむつ、ミルク等、もっと援助してほしかった。病院には水をきらない様にして下さい!!

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日： 1月20日 妊娠週数： 38 週 帝王切開  
出産病医院の住所： 神戸市西区

私は1月20日が出産予定日でした。地震後3日では帝王切開の場合対応してもらえなかった。手術に対応する病院がどこもなかったらどうしようと思った。とても不安な日々を過ごした。唯一ありがたかったのは担当の先生からの電話のアドバイス、やさしいおもいやりのある言葉でした。つぎの病院への紹介など親切にしてくださいました。だから今でもあるがたいとおもっています。

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日： 1月22日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

このたびの地震では水が一番大変でした。うちは主人の両親と住む大家族なので皆で水くみに行きましたが、もし私ひとりだったら大きなお腹をかかえて、お水や食料品をどうやって与えたらよいのでしょうか。本当に大変だったと思います。学校の給水車はなかなか来てくれないし、なかなか難しいとは思いますが、たくさん来てくれたらと思います。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日： 1月22日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

今回のように、通院していた病院でみてもらえなくなることや、急に他院にまわされてしまうことがあるので、母子手帳にもっと詳細な情報を記入してほしいと思います。（出産前だったので、“何かあったら母子手帳だけもってにげだそう”と思った）例えば、血型とか、胎児の体位とか与薬etc.

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日： 1月25日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

私は地震の一週間後に出産をし、分譲マンションは全かいでしたが仮設及び県住等の抽選の優先わくに出産前や出産後の妊婦も優先的に（高れい者や障害者と同等に）入れる様にしてほしかった。母親の検診（地震直後の出産、家の全壊、子供達のコーク外の学校幼稚園の送り迎え、引越し等での体の変化）をみてほしかった。

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日：1月26日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

妊娠中は少しのことでもショックをうけやすいものです。出産したいと思っていた病院でお産できなくなりそれも非常事態の時に病院を自分でさがさなければならないというのはとても不安です。私は出産間近で先生に無理をいって病院を紹介していただきましたがお産する病院を自分でさがされた人もいます。こういう時でも妊産婦が安心して他の病院に移れるようにはならないでしょうか。

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日：1月29日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市須磨区

予定日が近い場合は近くに分娩可能な医療機関はあるのか、又助産婦などがいるのかといった情報、そして出産に対する不安などがなく心身共に手助けしてくれると良いと思います。予定日でなくともたいへん不安になりがちなので周囲の理解とサポート（家族だけでなく近所のひとでもできれば）してくれるとありがたいです。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日：1月29日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市須磨区

体調に異常あるのに、かかっていた病院が非常事態でつぶれてしまった場合、どこにれんらく、通院すればよいのか前もって知っておきたい。

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日：1月30日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

- ・寒い季節には暖をとれるような援助物資（毛布・布団類）
- ・緊急の場合の転送の受け入れ体制や医師看護婦のボランティアは出張をお願いしたい。

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日：1月31日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市須磨区

情報一今回の地震では24時間出産対応の医療機関がすぐに出なかった。数日してからテレビにでた。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日：2月1日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市須磨区

いかなる事態においても 確実にかつ適切な医療がうけられる体制を整えてほしい。

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日：2月2日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市須磨区

- ・病院の確保をしてほしい（水、ガス、電気普及をできるだけはやくしてほしい）

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日：2月2日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市須磨区

- ☆妊娠中、お腹の赤ちゃんの事が気になるので、早産などの危険がないかを診察する所を作ってもらいたいです。
- ☆その産婦人科が出産できるのか、家から近い所はどここの産婦人科になるのか。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日：2月4日 妊娠週数：41週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市須磨区

- ・震災後産院に検診の為訪れた時、「赤ちゃんの水」、紙おむつ等自由に持ち帰れる様、用意されていたので出産後の検診でいろいろただけて助かった。
- ・地震の日、大きなお腹をかかえていたので一番の不安は病院が大丈夫か、ちゃんと産むことができるかということだったけどすぐ産院の方から連絡があり安心した。

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日：2月5日 妊娠週数：37週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市須磨区

少しでも早産や流産などにならないようにしてほしい。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日：2月6日 妊娠週数：38週 吸引分娩  
出産病医院の住所：神戸市長田区

商店が大火事。車はこんで動かない。そんな状態で子供の服やおむつなどのことを一番心配していました。けどあちらこちらできゅうえんぶっしが目につきかけよりました。すぐたすかりました。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日：2月6日 妊娠週数：41週 自然分娩  
出産病医院の住所：川西市

電気が遮断され外からの情報が乏しく動きにくい身でもあり大変困りました。ですので、何か別の形で情報を提供していただきたいです。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日：2月6日 妊娠週数：37週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市須磨区

いつでも受け入れてもらえるようにどこの病院も態勢を調べてほしい。

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日：2月6日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市須磨区

☆どの様なことがおことうと出産できる病院管理（水道、ガスがたとえ断ったとしてもそれに変わるものがあるか）私自身予定日が地震直後であったため、予定して医院から、ライフライン（水道）がだめな為、転院しなければならぬと連絡があった。実家（大阪）へ帰るにも交通機関がマヒしており、臨月の私にたえられる状態ではない。結局家で安静にし、ライフラインの回復を待つしかなかった。とても不安だった。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日：2月7日 妊娠週数：38週 鉗子分娩  
出産病医院の住所：神戸市須磨区

一般の人から見て妊婦は病人ではないという扱いがあたりまえで、たしかに病人ではありませんが、つわりのひどい人、流産・早産の心配のある人、等々他にもたくさん身体的ないたわりの必要な人はたくさんあると思います。非常事態の時には、お年寄り、身障者の方には、一番に手がさしのべられます。妊婦又は新生児をかかえるお母さんにも、もっと早くに、助けの手をさしのべてほしい。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日：2月8日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市西区

今回の場合、父（〇〇〇〇）から〇〇病院の△△△先生にお願いし、本当にお世話になり、無事出産できました事を心より感謝いたしております。私の場合、こういった連なりがありましたので幸いでしたが、全くこの様なツテのない方はどんなに不安に思われた事でしょう。病院、医院に必ずスタッフが精一杯頑張っているのを見ると、スタッフに余裕のある所から一定期間だけでも、スタッフのレンタルができないものかと考えます。特に今回の様に被害の少ない病院へは患者さんが多く集まり、現状のスタッフでは対応しきれなかったのではないかと思われました。（一部病院では満床という事もあり、診療をこわったと聞きます。）

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日：2月8日 妊娠週数：38週 吸引分娩  
出産病医院の住所：加東郡

震災直後から、避難所の小学校にいましたが、門が開いていただけで、なにもなく、昼頃になってやっと校舎の入り口が開いただけでした。ケガをしている人や風邪をひいている子供もいてせめて保健室だけでもすぐあけてほしかった。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日：2月8日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市須磨区

個人へのきめ細やかな 援助をして欲しい。金銭面においても物質的な事においても、すばやい対応と、援助があれば、少しでも不安な気持ちから救われると思う。

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日：2月10日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市須磨区

どの病院が診療をおこなっているのかをすぐに確認できるようにしてほしい。病院にいくまでの交通手段を完全なものにしてほしい。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日：2月10日 妊娠週数：41週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市須磨区

- ・病院で被害にあっているような場合、対応可能な病院や施設はどこか迅速に情報提供してほしい。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日：2月11日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市須磨区

地震後一番心配だったのは出産する病院が大丈夫かということでした。地震後は全く電話が繋がらなかったのも車で行って確かめました。又、断水時に給水場所をもっと明確にして欲しいなど地域の情報をもっとわかりやすく伝えて欲しいと思います。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日：2月12日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市須磨区

- ・ミルク、紙オムツの配給
- ・きれいなお風呂

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日：2月12日 妊娠週数：34週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市須磨区

私が困ったことは、7カ月（H6 11月末）まで仕事をしており、産休に入ってから出産用品をそろえようと考えたいところ、1月17日をむかえて、神戸は物資すら少なく、実家は全壊で両親は避難所生活、不自由以上の困難さを感じて、出産をむかえました。

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日：2月13日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：洲本市

水、ガス、電気は必ず確保して、いつお産がきても対応できるようにしてほしい。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日：2月13日 妊娠週数：33週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市須磨区

- ・新生児に必要なおむつ、ミルク、着る物など、不足になる事のない様、救護物資をお願いしたいです。
- ・避難所での診察・相談所なども少しでも多く設けてほしいです。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日：2月15日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市西区  
精神面での援助。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日：2月15日 妊娠週数：41週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市須磨区

急な病院の変更で、とても出産に関して不安であったので精神的なケアをお願いしたい。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日：2月16日 妊娠週数：41週 帝王切開  
出産病医院の住所：明石市

私の場合、とても大きなショックを受け、精神的に不安定になり産後もそれが長く続いている。出産後のケアを大切にしてもらえたらと思う。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日：2月16日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市須磨区

自宅からなるべく近い病院で、すぐに診さしてもらえるような設備にしてもらいたいです。（地震の為、一担 遠くの病院に入院させられてとても 不安だったので。）

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日：2月17日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市中央区

地震後病院を探すことで苦労しある病院でかなりの時間待つことに大変苦しい思いをしました。待ち時間の大変さはお腹の大きいときには本当にこたえるのでそのへんを考えてほしい。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日：2月17日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

食料がなく困った。カルシウム…などを子どもの為にと考えて食事をしていたのに全く食べるものがなくあっても1回の食事におにぎり1コとかで自分もおなかのすくし赤ちゃんに大丈夫か心配だった。

風呂が入れず不潔、特に私は清けつにするように医者に言われていたのに、水がなく他人の家だったし何もできなかった。

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日：2月17日 妊娠週数：37週 帝王切開  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区  
非常時にも混乱をきたさず即時に対応出来る医療態勢を望みます。

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日：2月17日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

たまたま去年12月末に引越し、出産間近でも仕方なく転院しましたがかえってそれで助かりました。（以前の所はこわれたため）早い時期から早産の心配があったので今回もいつ生まれるか心配でした。妊婦はみなそうだと思います。どこででもとにかく安全に生みたい！どこの病院なら生めるか、安全かそして、やさしく受け入れてほしいですね。これからは、もっと早く、確実に、情報がほしいです。

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日：2月18日 妊娠週数：37週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

避難所において病院に行きたくても、交通機関が、不便なので、いけなかった。だから、妊婦検しんなどを、かんたんにも、避難所などでもうけてくれてたら、少しは、安心できた。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日：2月19日 妊娠週数：42週 自然分娩  
出産病医院の住所： 明石市

ミルク、おむつも必要でしたが、ほ乳びんを洗浄する必要もあったし（煮沸消毒等）子供がお風呂には入れないのが、かわいそうです。（今回は寒い時期ですが夏だと最悪です）医療に対して小児科対応があまりなかったように思える。妊婦のみ避難所確保が必要だと思います。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日：2月19日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

私の場合、もうすぐ36週目という時期だったので、検診も週に一度になっていましたが、水道が止まっていたので、入浴に困ったりしました。他は用意していた赤ちゃんの物、入院に関する物等、実家が全壊でとり出せなかった為、遠方の知人に買って来てもらうなど少し大変でした。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日：2月22日 妊娠週数：41週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

ホームヘルパーのように助産婦の資格を持つ人に登録してもらい、非常事態の妊産婦の急な体調の変化の際に かかりつけの医院または 病院に連絡をすれば、自宅に助産婦さんを派遣してもらえるような組織を作るべきだと思います。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日：2月23日 妊娠週数：39週 鉗子分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

この度の震災では病院の被害もさほどなかったようですが水やガスが止まり大変だった時期もあったようですが出産が無事に出来たのでよかったです。しかし病院がまったくダメだった場合どうなったか考えるだけでもとても不安に思います。そんな患者の心理に答えるよう次の病院の手配などの用意をすばやくお願いいたします。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日：2月24日 妊娠週数：39週 帝王切開  
出産病医院の住所： 神戸市北区

妊婦はただでさえ精神が不安定なときがあるので対応に一番気を使って頂きたいです。



被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日：2月24日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

当時、「私は、出産することができるの  
だろうか？いつもの先生にとりあげてもら  
えるのだろうか？いきなり知らない病院で  
うむのだろうか？」と不安にかられた。

今、考えれば、ちっぽけな事だけど、なぜ  
か、涙が、出て困った。病院や先生も被災  
者で、それどころではないことは、もちろ  
んわかっているが、数日後にでも、「大丈  
夫ですからね」と声をかけてもらいたかつ  
た。個人病院だったので、よけいに“その  
先生だけ”しか知らなかったから ちがう  
病院なんて絶対イヤだった。こちらから電  
話して、話ができただけの時、パーッとまわりが  
明るくなった気がした。

あと、主人が、実家や、仕事場が大変  
で、私のことや、第1子の3才の（当時2  
才）子供の世話どころでなかったの、お  
水をもらいに行くことさえ大きなおなかで  
は無理があった。近所の人も自分達のこ  
とで大変で頼めなかった。自分の家に居た  
かったけどそれが理由で大きな荷物をも  
って実家に帰った。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日：2月25日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

おむつやミルク他赤ちゃんに  
いるものを 救援物資して  
いただきたい。（〇〇産婦人  
科ではそういう物があったの  
ですごく助かりました。あ  
りがとうございました）

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日：2月25日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

唯でさえ心も不安定な時期  
ですので、リラックスでき  
るようなテープを、集まっ  
て流してもらったり、話し  
合いの場を設けたり、又、  
安心して出産のできる医  
療機関を紹介してもらえ  
たら、随分安心できるの  
ではないか。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日：2月27日 妊娠週数：37週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

いざというとき頭にかぶの  
は119へ TELすることぐ  
らいです。けがであろうと  
陣痛であろうとすぐに指  
示をしていただくと安心。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日：2月27日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

今回の地震では大きな被害  
もなく、お腹の方もさいわ  
いに異常がなかったので、  
私自身あまり不安もあ  
りませんでした。ただ、こ  
のような災害で、分娩施  
設が使用不可能になった  
時など、急にお産の兆候  
があらわれてきた場合、  
自宅でも緊急に出産で  
きる最低限の知識も母  
親学級などで教えてい  
ただきたいと思います。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日：3月1日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

検査や治療がすぐに受  
けられる体制を整える。

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日：3月1日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

落ち着いて休める個室  
（プライバシーが守れる）  
場所に避難でき、何かあ  
った場合、すぐに病院に  
かけつけたりできる体制  
を整えてほしい。

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日：3月3日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

妊産婦さんにはやはり検  
診と心のメンタルヘルス  
などのカウンセリングを  
してあげべきだと思います。  
（私は2回目のお産でし  
たけど 生むことに対  
してとても不安で毎日  
がゆううつでした）

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日：3月3日 妊娠週数：37週 帝王切開  
出産病医院の住所： 神戸市西区

どこの病院でも母子手帳  
を持っていけば紹介状が  
なくても診てもらえる様  
にしてほしい。その場一  
時の診察だと診てもら  
えるが最終的に出産ま  
でかかるとなると（後  
期に入っていたものあ  
るが）紹介状がないと  
診れないと ことわられ  
た病院もあった。この  
震災ですぐにはカルテ  
はとり出せない状態で  
すぐには紹介状は書い  
てもらえない。なのに  
紹介状がないと診て  
もらえないで（8カ  
月なのに）出産病院  
が決まらないらだち  
と不安でいっぱい  
でした。

被災時住所: 神戸市須磨区 経産婦  
出産日: 3月3日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市須磨区  
水くみなどの重労働を援助してもらいた  
い。

被災時住所: 神戸市須磨区 経産婦  
出産日: 3月5日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市北区  
「どこの病院なら診察してくれる」とい  
うことをなるべく早くに知らせしてほしいと  
思います。

被災時住所: 神戸市須磨区 初産婦  
出産日: 3月5日 妊娠週数: 39週  
出産病医院の住所: 神戸市北区  
赤ちゃんに必要な水、ミルク、おむつな  
どをすぐに配給してほしい。

被災時住所: 神戸市須磨区 経産婦  
出産日: 3月5日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市須磨区  
異常があるときすぐ受診できるようにど  
こに行けばいいのかを誰でもがすぐわかる  
ようにしてほしい。

被災時住所: 神戸市須磨区 経産婦  
出産日: 3月5日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市須磨区  
今回の地震で、食事、買い物、とくに水  
の配給にこまった。寒い中、重い水をかか  
えて運ぶのはつらかった。  
出産、診療がどこまでできるのか、情報  
がとぼしかったことの改善。自然分娩をす  
るつもりがお薬での計画分娩をしなければ  
いけないようにならないこと。  
交通事情で、先生の立ち会いが出産に間に  
合わないようなことがないように。

被災時住所: 神戸市須磨区 経産婦  
出産日: 3月7日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市須磨区  
自家発電等で、緊急の手術等にも対応で  
きるようにしてほしい。

被災時住所: 神戸市須磨区 初産婦  
出産日: 3月9日 妊娠週数: 37週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市須磨区  
かかりつけの病院が被災して診療できな  
いときは分娩の近い妊婦の受け入れ先を紹  
介するか問い合わせがあったときは診療可  
能な病院を案内してほしい。

被災時住所: 神戸市須磨区 経産婦  
出産日: 3月10日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市須磨区  
妊産婦さんは、非常事態の時、病院に行  
きたくても行けないかもしれないから、病  
院の方から、看護婦さんでも誰でもいいか  
ら、来てくれて、血圧や脈を計ったり、お  
腹の赤ちゃんの心音をみてるだけでも  
安心できると思います。

被災時住所: 神戸市須磨区 初産婦  
出産日: 3月11日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市東灘区  
緊急時に、何かあった場合の為すぐに行  
ける病院の情報を提供してほしい。

被災時住所: 神戸市須磨区 初産婦  
出産日: 3月13日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市西区  
どんなときでも安心して産める場所を確  
保してほしい。

被災時住所: 神戸市須磨区 初産婦  
出産日: 3月16日 妊娠週数: 31週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市須磨区  
妊産婦に限らず、子供、お年寄り等の休  
める所を確保したり、診療所を、各避難所  
に作ったりできれば良かったと思う。

被災時住所: 神戸市須磨区 初産婦  
出産日: 3月17日 妊娠週数: 30週 鉗子分娩  
出産病医院の住所: 神戸市須磨区  
どこでみてもらえるか?又、どうしたら  
よいか、早く確実にみて頂く又は連絡をと  
れるようにしてほしい。

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日： 3月18日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

今回は冬場だったので週一度のお風呂でも我慢できましたが妊産婦はそれでも体を休めたりもしたりしなくてはならないので、お風呂や個室を確保できるようにしてもらえたらと思います。

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日： 3月18日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

今回の地震では、水の確保が一番大変でした。一日一日体調がおかしくなっていくのがわかりましたが、水くみを休むわけにもいかず、もう少し水の出るのがおそればどうなったことか。具体的な案は思いつきません。

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日： 3月18日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

- ・どこに行けば お産できるのか、異常がおこった際は どこに行けばいいのか、そこへいくにはどうすればいいのか等の情報がすみやかに正しく伝えられること。
- ・水くみや物資の運搬などの力仕事はとてもつらい、手伝ってくれる人がいれらうれしい。長時間 並ばなくてもいいようにしてほしい。

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日： 3月20日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市垂水区

紙おむつの支給（水道が止まった場合）妊産婦というより赤ちゃんのいる家庭には水の支給（ミルクを与えているお母さんには）ミルクの支給を早急に行ってほしいと思います。又、今回の地震によって避難所生活を行っておられる方の話などをテレビ等で見たりして思ったことですがせめて3カ月ぐらいまでの赤ちゃんは雑菌から守ってあげる為にもお風呂は別（たとえば沐浴）にしてほしいと思います。

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日： 3月20日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

混乱時妊婦の身で銀行へ行けない。又は行く手段がない等考えられる場合には診療費を後払いにできるようにとりはからって頂きたいと思います。私自身水道がとまりスーパーでもものが買えずとても銀行へいくどころではありませんでした。たまたま手持のお金があったので困りませんでしたが困った方もいらっしゃるのではないかと思います。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日： 3月20日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

産院が妊産婦や新生児のために何か「災害時でも機能を失わない。災害時に役立つ」拠点となり神戸市内の産院同士が横のつながりを強くして1つのラインとして運営していただけたらと思います。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日： 3月21日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

今回の災害時病院の看護婦さんより検診日を直接電話してくださりまた体調等のこまかいことまで気を配っていただいて力強く思った。またテレビやラジオなどでもどこに行けばすぐ検診してもらえるかなどの情報を一日も早く流してほしい。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日： 3月21日 妊娠週数： 38 週 吸引分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

今回の地震で私が感じた事は看護婦さんの1本の電話でした「だいじょうぶ？」それだけですがすごくうれしかったです。妊産婦は何かと不安がつきものです。一声がすごく助かるときもあるのだなあと思いました。

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日： 3月21日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

- ・検診がどこでも請けられるようにしてほしい。
- ・もし何かの時の場所が確保できているか確実な情報がほしい。

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日： 3月21日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

今回の地震でも妊産婦には、特別な扱  
的なところがいくつかありましたが、やは  
りどんな時でも 妊産婦をみんなのやさし  
さや援助などでどんどん救われることがあ  
ると思いますし、思いました。

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日： 3月22日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

今回の地震では、たまたま主人の仕事場  
が全壊で手があいていて、車で病院までい  
けたので 不便はありませんでしたが、も  
しそれがなければ 2才の上の子をつれて  
道の悪い所を歩くのはとても大変だったと  
思います。電車もすごく混んでいたし、道  
も混んでいたし。そのへんが 何かあれば  
と思うのですが…大きな病院の時は専用の  
バスを出すとか…) アメリカなどでは子供  
や女性にたいしてとても親切なのに対して  
日本ではそれが感じられません。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日： 3月23日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

精神的に安心できる場所やカウンセリング  
などがあればよいのでは。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日： 3月23日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

地震の時はお腹が8カ月だったので、給  
水(運搬)がたいへんだった。すまいが4  
階だったのでしんどかった。食べ物もスト  
アーがあいてもすごい人だったしお腹の大  
きい私たちには買物なんてできない。

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日： 3月23日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

子供(うまれたばかり)に対してのすみ  
やかな行動。私は、震災から2カ月たっ  
てからの出産だったので医療、援助などは  
十分でした。が、おむつ、などの不足があ  
りました。私共が住んでいる所は、一部損  
かいなのでおむつが近所にあまりなく、実  
家の方からもらいました。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日： 3月24日 妊娠週数： 41 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

妊産婦にかぎらず病院はいざというとき  
のためのライフラインを確保しておくべき  
だと思いました。病院へ行って手当てをし  
てもらえないというのは悲しいことです。  
しかしこの度は病院関係のみなさまはと  
ても大変だったしよくがんばっていたと思  
います。

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日： 3月24日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

やっぱり早産したり現に小さな赤ちゃん  
がいるとちゃんと病院がやっているのか、  
ミルクおむつ着がえ赤ちゃんに必要なもの  
すべてがととのっているのかとても不安で  
す。この地震の時も8カ月だったので早産  
にならないかなとても心配でした。生ま  
れてもガスも水道もなかったので赤ちゃん  
のことだけを考えていました。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日： 3月25日 妊娠週数： 41 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

もっとラジオでもいいから、情報をいっ  
ぱいながしてもらいたい。オムツなどのく  
ばっている場所なども、こまかく情報をな  
がしてほしい。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日： 3月27日 妊娠週数： 39 週 吸引分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

ミルクや紙おむつなどをわけてもらえる  
ようにしてほしい! (お店で、うりき  
れの場合があるので)

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日： 3月28日 妊娠週数： 39 週 鉗子分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

妊娠8カ月、むくみと体重増加で腰痛のひ  
どいとき、電気がなくて動きがとれず1日  
12時間も横になる日が続きます。腰痛が  
悪化した。さらに食事が菓子パンや弁当  
等、砂糖、塩分の多いものになってしまい  
体重は増加した。2週間してカセットコン  
ロの配布があり自炊ができるようになって  
ありがたかった。避難所等では減塩のもの  
などが必要ではないかと思う。

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日： 3月29日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市西区

そういうときこそ定期検診をして欲しい  
ものです。地域の保健所などを利用して  
していただけたらと思います。

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日： 3月29日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

最初の頃は水も食料も届かず毛布なども  
なくて困りました。

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日： 3月30日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

私の場合地震から2カ月以上たってから  
出産したので特にこまったことはなかった  
が、たぶん水がまだ出ていなかったりした  
らこまっただろうと思います。

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日： 3月30日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

テレビ等で見て思ったのですが、避難所  
で生活している妊産婦さん達の食事は片寄  
らないのかなと…パンと牛乳という日が何  
日も続いたり、せめて食事だけでも何と  
かならないものかと思いました。又、当日  
からお産だった人の話を聞くと、赤ちゃん  
は産湯につけてもらうことができなかつた  
と…水というものがいかに大事なのか…そ  
の為にも水の予備はいつでも備えとくのが  
良いと思いました。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日： 3月31日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

妊産婦にとっては毎回通っている病院に  
すぐ行けるか、どうか不安だと思う。（交  
通機関 電話等に不通）その区ごとの避難  
所等に産婦人科の先生が2人位はいてほし  
いと思う。

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日： 4月3日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市西区

非常事態には普通の人より神経も精神も  
高ぶっているのです。少しでも早く医院から  
の連絡が待ち遠しく安心したかった。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日： 4月3日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

私は妊娠中でしたが友人などは子供のミ  
ルクが買えないといっていました。私が  
通っていた病院には粉ミルクや紙おむつが  
たくさん置いてあり持ち帰れるようになって  
いましたがよかったです。ありがとうございました。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日： 4月4日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

テレビでは色々と放送されていましたが  
妊産婦に対しての安心できる放送もほし  
かった。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日： 4月4日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

地震の次の日、ラジオで、産婦人科の先  
生が、（〇〇区だったと思うが）出られて  
診療を、やっておられること、あの日、誕  
生した赤ちゃんがいて、母子共に元気であ  
ることなどを、話されているのを聞いて、  
心強く思いました。私も、頑張ろうと思  
いました。自分の受診していた病院は、被害  
の少ない地域だったので、多分診療して  
もらえるだろうと思っていましたが、地震  
から数日は、電話もかかりにくかったので、  
ラジオなどで、情報を、非常時に流して  
もらえると、（診療をしている医院や、気  
をつけることなど）助かると思います。

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日： 4月5日 妊娠週数： 38 週 帝王切開  
出産病医院の住所： 明石市

今回の震災で最も困ったのは水が出ない  
事でした。給水車は来てくれましたがマン  
ションの13階に住む私にはその水を運ぶ  
ことができず結局親戚宅に避難すること  
になりました。水がなくて困ったのは皆  
さん同じでしょうが重い物を持ってない  
後期の妊婦には、給水車が来るだけの  
水の援助はあまり援助とはならなかつた  
ようです。何か方法は無いのでしょうか。

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日： 4月 5日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

身体的にも精神的にもおちつける場所と人(助産婦など、お腹の子どもの異常などが相談できる)の確保。

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日： 4月 6日 妊娠週数： 37 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

今回のお産は3回目で、地震の時は安定期でしたが、自宅も、産婦人科も被災地で、病院からの連絡とかが、してもらっていただけもう少し安心できたのではないかと思える。たまたま 病院はどうなってるのかなと前までいったおりに、聞いていたので診てもらったが、それまで、病院をどうしようかなと不安だった。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日： 4月 6日 妊娠週数： 41 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市垂水区

避難所や車内で約1カ月間過しましたが、やはり集団の中なので 安眠が出来なかった。(出来れば妊婦などハンディのある人は、たとえば病院があいていたら病院で過すとか、他に施設を設けるなどして、精神的に安定できるようにして欲しい。)妊婦は薬も飲めないのも、風邪の流行などで、つらい思いをした。体も思うようには動けないので、避難所でいろいろ手伝うことがしにくく、他の人にも迷惑をかけた。物資の食事では栄養バランスが悪く食欲もなく、少しやせた。(当時私の場合8カ月でした)

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日： 4月 6日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

子供が、地震時にはお腹の中にいたので、(被害もなく)心配事はなかったが、もし、出産して自宅にいたとしたら、入浴のこと、紙オムツ、また水くみなど、いろいろな子供に関してできなかったことがあったと思う。そのような場合、自力で、どうしてもできないときは 病院で、援助体制をとってもらえれば助かる。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日： 4月 7日 妊娠週数： 37 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

〇〇病院などは震災後けがや病気をされている人を優先に入院させていたので、産科などは震災の前から通院していた人のみ受け付けますということだったようで、病院側もベッドも先生もおられないので受け入れられないのはよく分かるけれど、実際、震災前から通っていた病院に通いたくても交通手段がなく通えない人や、病院が倒壊してしまったり断水などで機能しなくなって、通っていた病院にも断られた人もおられたようなので、ケガ人や病人同様に妊産婦のことも考えてほしいと思った。それから電車も使えなく、道路も規制されているときの病院へ行く交通手段も考えてほしい。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日： 4月 8日 妊娠週数： 27 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

病院がいっぱいでたら回しにされると大変なことになるので、妊産婦だけの救急センターがあれば良いと思う。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日： 4月 9日 妊娠週数： 41 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

- ・交通網の確保。
- ・他地域よりの医療機関の公共施設等を利用しての一時的な開設。
- ・非常時の医療がどこで どんな風に行われるかの基本的なマニュアルの作成。

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日： 4月 9日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

長男が震災の時 まだおむつがとれていなかったのも、おむつの買いだしにこまなかったのも、下はまだ生まれていなかったのもよかったです。やはり、水、ミルク、おむつが子供達にくばられるよう無料でどこでももらえるかしてほしいです。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日： 4月10日 妊娠週数： 41週 吸引分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

地震の翌日避難所に1日滞在したのですが妊婦だということで配りよしてもらえなかったのが残念です。（食べ物をたくさんくださる方もいたのですがパン類ばかりでしたし冷たい体育館でみなさんと同じ条件で一夜を明かしました）わがままなのかもしれないが配りよしてほしかったです。

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日： 4月11日 妊娠週数： 40週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

衛生状態のよい所での生活。食事や入浴など。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日： 4月12日 妊娠週数： 40週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

阪神大震災のときも言われていましたが赤ちゃんのためのおむつ、粉ミルク、水、又着替え、お風呂等困ることのないようにしてほしいと思います。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日： 4月12日 妊娠週数： 40週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

1. 妊産婦のいる各家に、担当者の先生が往診にきてほしい。
2. 家でもちゃんと出産できるように、近くに助産婦さんがいてくれると少しでも安心するのですが。

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日： 4月12日 妊娠週数： 39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

なるべく通院している所で出産できるようにしてほしい。（Telなどの対応とか）

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日： 4月12日 妊娠週数： 35週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市兵庫区

- ・地震の当日の夕方から主人が会社へ行き3日間帰って来なかった。兄弟が水や食品などを運んでくれなかったら、4Fまで階段だけの住宅で困るところだった。同じ住宅の人もいろいろ気づかって下さったので大変助かった。これらの助けがなかったらと思うと少し恐いです。
- ・通勤にバスを利用していたが、冬場でコートなどを着ていると妊婦と分かってもらえずオレンジシートに座っていて少し緊張した。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日： 4月14日 妊娠週数： 40週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

テレビなどで開業の受け付けの有無、時間を知らせてほしい。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日： 4月14日 妊娠週数： 40週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市西区

当日にお腹がいたくなって不安だったときラジオで（AM神戸）〇〇医院が異常のある人は来てくださいと放送して下さったので精神的にとっても安心しました。（電話も不通で不安だった）

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日： 4月14日 妊娠週数： 38週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

入浴、シャワーができるところ（一般人とは別に、妊産婦用の）を開放するなど。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日： 4月14日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

今回の地震でいちばんこまったのは、交通機関が止まってしまったことです。主人は、仕事がいそがしくなり車で、送ってもらうことが出来ず、私は、主人の実家（西明石）に避難していたので、とても病院まで行くことが出来ず、2週間おきの検診だったのですが、結局、2カ月ほど、行けなくなりました。私は、そんなに異常などもなかったのが良かったのですが、何とか、タクシー代など（今回は、タクシーも走っていませんでしたけど…）の援助などがあれば、少し、ちがっていたと思います。

被災時住所： 神戸市須磨区 初産婦  
出産日： 4月15日 妊娠週数： 41 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市灘区

体調悪化などが起きたときの病室の確保と精神的ケアも含めた時間をかけた診察および問診がどこの医療機関でも受けられるようになると良いと思います。

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日： 4月15日 妊娠週数： 42 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

妊婦の体の異常が心配なので診察を十分にしてほしい。

被災時住所： 神戸市須磨区 経産婦  
出産日： 4月15日 妊娠週数： 37 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

地震の時、新聞やTVなどで電気がとまったりした時、新生児室や病院など暖房がきかずに毛布などをかぶって、赤ちゃんにひっついて、あたためあったとかろうそくの火だけ出産になったとか、私自身はそういう目にあわなかったけどさぞ心細く不安だったと思う。でも人間って強いなあと思った。病院だけは、自家発電のようなもので、せめて新生児室だけでもそういうことにならないよう、希望したい。でも先生や看護婦さんの言葉だけでも安心できるのでどんどん話をしてください。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日： 1月17日 妊娠週数： 38 週 吸引分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

水の確保、安心して出産に臨めるように少しでも多くの看護婦さんや助産婦さんに励まされたいのではありませんか？私は入院したとき1人だけだったので余震がとてもこわかったのですが看護婦さんが新生児室にいっしょに泊まって下さってうれしかったです。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日： 1月17日 妊娠週数： 34 週 帝王切開  
出産病医院の住所： 神戸市北区

- ・ 出産前については、検診を受けられる病院等の紹介、居住地の確保
- ・ 出産後については、ミルク、オムツ等、赤ちゃんの必要なものの供給を1ばんにしてほしいと思う。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日： 1月17日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

妊産婦専用の避難所を希望します。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日： 1月17日 妊娠週数： 34 週 帝王切開  
出産病医院の住所： 神戸市北区

震災の当日1月17日に出産しましたが地震発生の2時間程前の出産でした。

（2：51）浜側の方に比べ北区の病院は被害も少なく入院中、特に不便は感じませんでした。ただ帝王切開だったので自分自身の身体が動けず、次に大きなのが来て建物が壊れたら助からないな一と思い、とてもあせりました。他の病院からの患者さんやショックで流産しかかった方がたくさんこられてみなさんとても忙しそうでした。私自身はほとんど地震の不便さを感じることなく（病院にいたため）退院、実家で2週間程過ごし、家に帰った頃には、平常通りに生活をすることができました。



被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日：1月18日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

私の場合地震当日、〇〇病院へ入院させてもらいました。北区なので被害はないだろうと思っていたのですがガス、水道は使えませんでした。〇〇消防署の方にきて△△病院へ行ったのですが三田市内はほとんど被害がなかったし受け入れ体制もとりやすかったと考えます。消防署の方で病院の被害状況を把握してもらいたかったです。かえって病院のスタッフにご迷惑をおかけしてしまったと思います。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日：1月20日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

物的な援助はもちろん必要だと思うが精神的なケアもそれ以上に必要だと思う。  
(非常事態によって母親がパニックにならないように)

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日：1月20日 妊娠週数：38週 鉗子分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

1つの病院、医院に妊婦が殺到しないように適切な人数配分をしてほしい。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日：1月21日 妊娠週数：37週 帝王切開  
出産病医院の住所：神戸市北区

- ・ミルク おむつの確保。
- ・開業している病院の紹介。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日：1月21日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

私は特にこれといってなかったが同室の出産後の母親達が震災後バタバタしているのはわかるけど不安なこときいてもらえないのが嫌だなと話していました。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日：1月21日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

〇〇病院では地震後、大きな余震にそなえて各自自分の赤ちゃんを連れて避難できるようにと、急きよ母子同室にされた。その判断は正しかったと思うが、衛生面等、すべての状態がととのっていないなかだったので、各部屋に分散した赤ちゃんのケアをする看護婦さんも大変で、なかなか手がまわらない感じだったし、親もミルクの用意やおむつの不足分をとりにあるいは沐浴にと、何度もカゼの菌のまんえんしたロビーを通過して、新生児室へ往復し親もすごく疲れた。緊急時の体制として、各部屋にも備品が必要。赤ちゃんをおいて部屋を出る用事が多く外部からの人の出入りも多く、連れ去られないかと不安を感じたし、これではいざという時赤ちゃんをつれて避難できないと思った。夜間余震のたびにとびおきたが、もしもの時はどう避難するのかわからず不安だった。避難の仕方の説明も必要。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日：1月22日 妊娠週数：37週 鉗子分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

- ・衛生用品、下着、冬期であれば保温のための衣料（レッグウォーマー、ひざかけ等を含む）の早急な配送。
- ・十分な生活環境のない人のための入院（生活）施設。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日：1月22日 妊娠週数：39週  
出産病医院の住所：神戸市北区

新生児多数の場合、当直の看護婦さんの人数は増やして欲しかった。夜間の余震の時、とても心配で、結局自分の手元に置いていた。緊急時には他の病院からヘルパーの派遣は無理なのでしょうか？

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日：1月23日 妊娠週数：34週 帝王切開  
出産病医院の住所：神戸市北区

私のなども地震のあと気持ちが沈んだり涙もろくなったりしたので（体）心のケアをもっと大切にしてもらいたいです。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日： 1月23日 妊娠週数： 39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

避難所で過ごしていた方はきっと精神的にも肉体的にも疲れがあったのではないのでしょうか。衛生面、特に体をせいけつにしたいだろうし、食べ物も栄養がとれないだろうし、私自身は、水とガスがとまっただけで、まだ家もあり、ゆったりできましたが、やはり、出産が近かったため、お風呂には入りたいと思いました。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日： 1月24日 妊娠週数： 41週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

電話が通じなかったので連絡方法とか。とつげんの破水とか、考えるととてもこわいです。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日： 1月24日 妊娠週数： 40週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

私のかよっていた病院は被害があまりなかったのがよかった。地震後は水が出なかったのが困った。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日： 1月24日 妊娠週数： 37週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

- ・プライベートを確保できるようにしてほしい。
- ・シャワーだけでもできるようにしてほしい。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日： 1月25日 妊娠週数： 40週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

地震で思ったのですが私の場合は北区の病院で受けつけてもらえましたが地震以後なかなか交通機関が悪く水はないしガスもせず新生児をかかえとても困りました。老人のおられる家庭もたいへんですが新生児のお水の確保がもっとできたらと思いました。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日： 1月26日 妊娠週数： 38週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

大きな災害の時は皆必死でとても多くのことを望めないと思います。でもせめて赤ちゃんや妊産婦さんが安全でいられる場所はどこかっていう情報が速く伝わればいいなと思います。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日： 1月27日 妊娠週数： 37週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

今回の災害のようなことがあった場合精神的なショックが非常に大きくそのために体調もくずしやすくなります。そのような不安を少しでもやわらげていただくためにも緊急の医療施設を整えまた、どこにあるかなどの情報を妊産婦に教えてください。また、家庭での応急処置なども教えてください。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日： 1月27日 妊娠週数： 37週 帝王切開  
出産病医院の住所： 神戸市北区

断水になり、水不足でたいへん困っていたので、水の確保は大切だと思う。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日： 1月27日 妊娠週数： 41週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

悲常事態においては、全ての人に当てはまると思いますが やはり精神的なケア、及びフォローが特に病人及び妊産婦には必要だと思います。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日： 1月28日 妊娠週数： 40週 自然分娩  
出産病医院の住所： 尼崎市

診察してもらえる病院等がすぐわかるような情報を流してほしい。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日： 1月31日 妊娠週数： 37 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

- ・ 出産の時に電気や水道が止まらないかと心配だった。
- ・ 出産後母子別室であったため地震があり3階であったためよくゆれたので、其のとき赤ちゃんが心配になりました。(そのとき赤ちゃん20-22人くらいいました)

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日： 1月31日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市灘区

- ・ 希望ではないのですが妊婦であった自分がこれだけしていただいて満足だと思いいこれ以上の希望はなかったので書かせていただきます。
- ・ 地震当日予定日までわずかでした…私の通っていた病院は被災地でも本当にひどいところ(灘区)でしたさっそく一度病院へ行ってみました。幸い自宅のほうは水道、ガス、電気全部平常通りでしたので回りが「わざわざ全部止まっているところに行ってお産しなくてもいい」といわれ何日も悩みました。先生に一度お話ししようと思いましたが「紹介状をかいあげてもいいよ」といって下さり私としては本当は今まで通っていていまさ別院には移りたくなかったのですそこで先生が一言「病院はなんともなっていないし本来お産は水はあんまりいらぬもの」と安心させてくれました。それで私は「やっぱりずっと通っていたここで産もう」と決心しました。入院中も患者さんには何不自由ないよう食事もなんとか入浴もさせてもらい本当に満足して入院生活をすごしました。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日： 2月1日 妊娠週数： 41 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

今回の場合冬でしたので入院中暖房がなかったのが一番つらかったです。入院後夜中に破水し寒い階段を一人で上がり、寒い診察室にひとりで下半身裸で待たされたときは寒くて歯が鳴りました。上記より電気ガス、水道等が使用できな気なる場合を想定し代替設備を用意しておいていただけると良いと思います。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日： 2月1日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

離乳食・お乳など、回りの県などから送ってきて下さった様ですが、実際、それがいる時は来ず、おちついてから来たのでその辺のルートをもう少し考えてほしいなと思いました。テレビ等で受付けてくれる病院名が流され、実際、そちらの方へ伺っても、受付けてくれなかった病院がほとんどだった。病院は、できれば自家発電、プラスチックのタンクなどあればいいなと思います。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日： 2月1日 妊娠週数： 41 週 吸引分娩  
出産病医院の住所： 明石市

神戸は母の家に地震の時居ましたが、本当は明石の団地が私の家です。明石は大分長いコト断水していた様ですが、私、その時、明石にいたら水をもらいに5階から1階までりん月のおナカでおもたい水をかかえて往復する所でした。なんとかなるといいですね。後、最初の頃、神戸から明石へに道がなくなり、どこで産もうかと思った時、近くの病院は一杯で、どこも“うちはダメ”他を当たって下さい。とたらいまわしにされました。その辺をなんとかしてほしいと思います。(予定日より遅れたからいいですけど)

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日： 2月1日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

- ・ 地震があった後、子供を産むにあたっていろいろな不安がありました。地震があつてから、しばしば、おなかが痛くなる事があったので…
- ・ 水がまだ止まっている状態で子供が産まれたらどうしよう…などでも希望といつてもみんなが大変な中なので…ただ不安を解消してくれる事だけをのぞみます。(具体的に?と言われたら分からないのですが…)

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日： 2月1日 妊娠週数： 38 週 鉗子分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

非常事態後すぐ無料で異常がないか、診察してくれる様にしてほしい。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日：2月2日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市中央区

今回の地震後の入院時には水の確保を完全にさせていただき非常に助かりました。今後も確保できるようにお願いします。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日：2月2日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

優先的に出来たらと希望します。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日：2月2日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

安心して出産できる状況にできるだけはやくしてほしい。（出産場所や医師の人数など）

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日：2月2日 妊娠週数：41週 帝王切開  
出産病医院の住所：神戸市須磨区

自宅から出産予定の病院へは普段は車で30～40分位で行けるのですが、地震後交通事情がとても悪く、陣痛でもおきたら間に合うのか等とても不安でした。近くの産院にそんなとき急に行ってよいものかわからずもっと普段より、非常事態の場合どうすればいいかを知らせていてもらいたい。例えばそのようなことを冊子にして母子手帳交付時に渡す等。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日：2月3日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

急にお産がはじまってしまった時に通院していた病院が被災していた場合どこですぐにみてもらえるかなどの情報がすぐわかるようなシステムがあればいい。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日：2月3日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

身体を休めることのできる場所と食事が必要だと思う。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日：2月3日 妊娠週数：39週 鉗子分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

今回の地震の際にミルク・オムツ等の用品の不足で大切困った方も多かったと思います。北区でも、物資が少なく出産後のことを考えると不安に思うことがありました。もし万一こういうことが、またあった場合 病院・保健所など、どこでもいけれど購入ができるようにしてもらいたいと思います。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日：2月4日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

夫が消防勤務のため非常時いつも留守なので自宅での診察ができれば助かります。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日：2月4日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

妊娠中でとても不安があったためどの病院が受け入れてくれるのかとても心配でした。今回この質問には関係ないが前の病院で診察を断われ（35週）にはいっていたため1週間に1回の検診を受けられずかぜもひどかったのでとても不安だった。前の病院では他の病院も紹介してもらえず出産後も連絡がなかった その病院の先生が週刊誌に色々「地震の時に子供を取り上げた」とかボランティアで避難所で妊婦検診をしたことをとりあげられているのを読んでとても腹が立った。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日：2月5日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

今回の地震などで私は大丈夫だったけれど友人が流産しました。異常にきずきすぐに119番したそうですがだめだったということで。そのような際でも車の中で何件かの病院に電話をしてその時間がかなりあったとか。出産などということは予期できないものだから妊婦、そして産婦人科医の先生も大変だと思うけれど生命の誕生という大事業に関わるのだからやはりもっとスピーディーに妊婦を病院に運んでもらうようにしてほしい。又これは私の体験だけれど今回の地震で水が出なくなった。人手がないため私も9ヶ月の体で給水車のところと並んだが結構大変だった。自分でも普通に出産できたのが不思議だが産婦人科にもかかわらずみおきをしておくべきだと思った。その点私が出産した医院はくみおきの水があるということで心配はなかったが。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日：2月5日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

やはり自分の体より子供の事を考えてしまう。お腹の中にいると目で見えない分だけすごく不安になるのですぐ検診してもらえ安心できることが一番だと思う。先生、看護婦さんもイライラしているときだが安心できる一言があればもっといいと思う。援助ではこなミルク 紙おむつも必要だがあたためなくていいピンやレトルトの離乳食なども用意してあったほうが時期が夏なら乳児用のジュースなども。あとおふろには入れないので清浄綿、おしりふき、肌着。避難する場所に2、3人の保健婦さんも。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日：2月6日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

精神的ダメージによって胎児に影響がないかどうかなど不安になるので検診を受けて安心したいしかかっている病院が今までと同じように機能しているのかわかるかもはやく情報として知りたい。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日：2月6日 妊娠週数：37週 鉗子分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

- ・水の確保
- ・食料の確保
- ・新生児室の安全性

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日：2月6日 妊娠週数：37週 帝王切開  
出産病医院の住所： 神戸市北区

- ・救急病院など緊急時対応可能な病院のPR。
- ・援助としては粉ミルク、紙おむつ。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日：2月6日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

私はマンションに住んでいて、2人目の出産だったので友人たちにたすけられ今回の地震で苦労したということはあまりなかったが、もし、1人目の出産であったなら、このように落ちついてはいれなかったと思う。もっと近所づきあいも若い夫婦ほどすべきだと思う。(共働きなどでつきあいがなければ非常時に妊婦であることがわからない)母子手帳だけでなく、妊婦シール、妊婦バッジなどを配布してすぐに妊婦であることがわかるようにすべきだと思う。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日：2月7日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

妊婦といっても普通の生活をしている人がほとんどだと同じなので特別にこうしてほしいということはない。皆、平等でいいのでは…

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日：2月8日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

地震の後2-3日して検診にいったらすごくたくさんのお患者さんでした。スタッフのかたもてんてこまいでした。そういうときにすぐにスタッフがそろえられるような態勢ができればと思います

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日：2月8日 妊娠週数：38週 鉗子分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

やはり弱い立場（肉体的に）なので優先して対応して欲しい。具体的には被災した妊婦を無料で入院させ検診様子を見るなど

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日：2月8日 妊娠週数：37週 帝王切開  
出産病医院の住所：神戸市北区

入院中夜間、助産婦さん等の人数が少ないのが不安だった。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日：2月8日 妊娠週数：38週 鉗子分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

避難所における生活が妊産婦に心身共に負担をかけないようにするための配慮が必要だと思う。異常がなくても病院で受け入れてもらったり安全な所まで搬送してもらえば異常出産を防げると思う。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日：2月9日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市中央区

妊産婦や乳児専門の最低限の設備の整った避難所の確保、非常事態が長引いてくるとおなかの大きな人にたいしてのいたわり等関係なくなってしまう。又子供の泣き声などに気を使って小さくなっているのはかわいそうすぎる。何が起ころうと私が守るんだという母としての自覚をもたせてくれるような子育て経験のあるお母さんの話を聞ける場があれば母親教室の様なものも大事だがおばあちゃんの話の様なものも出産前というのとはかく回りに大事にされて具体的な母の自覚というようなものはありませんでした。産まれてひがたつうちにこの子には私しかいないんだと思ったけどもといぜんからこの様な自覚が必要な気がする。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日：2月10日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

妊産婦だけに限らず他の方も、安心して手当てをしていただける場所があればよいと思います。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日：2月12日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

- ・救急車が呼ばれるように電話回線の確保（別の番号をもうける）-とても不安。電話が通じない
- ・どここの病院だと診察してもらえるのか情報の提供を早く-自分が診てもらっている病院も機能しているかどうかわからなかった。電話が通じず陣痛開始したらどうしよう。どこへ行けば...と思った
- ・後で妊婦仲間からきくとみんなかなりお腹が張り食欲不振、不眠になったと思う妊婦はどのような状態になりやすいのか情報提供。ラジオ等してほしい-早く。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日：2月12日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

通常に比べて、妊産婦は少しのことでも影響を受けやすいものだと思います。だから、かかりつけの病院でなくても異常がおきた時は、いつでも受け入れてくれる態勢であって欲しい。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日：2月13日 妊娠週数：41週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

出産がちょうどいっしょのときはお金の都合がどうしてもつかない人は1時的に社会が立て替えしてくれるなどあったらいいと思う。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日：2月14日 妊娠週数：40週 鉗子分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

水が大事だと思います。私は出産前だったので赤ちゃんのお風呂とかミルクの水などが必要なかったのがよかったですがそれでも地震の当日は赤ちゃんの動きが活発になり夜には陣痛かと思ったほどお腹が痛くなり、私自身気が張っていたので幸い次の日にお風呂に入れて気分が落ちつきました。水の確保が大切だと思います。あと電気ですね。とりあえず水と電気があれば少しはしのげると思います。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日：2月14日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

私は被害の少ない所でしたがそれでも日々の生活の買い物さえ大変でエレベーターのとまってしまったマンションではほとんどとじこもりっぱなしでした。近くに実家があり友達もたくさんいたのでずいぶん心身両面で助けられました。妊娠時は特に精神的に不安定なので直後からの心のケアが大切かと思えます。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日：2月16日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

生活保護をうけていても近い病院で診察を受けれるようにしてほしい。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日：2月16日 妊娠週数：38週 鉗子分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

今回、私自身は恵まれた状況でしたが、混乱の中にあっても医療がうけられる病院をスピーカーなどで知らせていくのが良いのではないかと思います。一度そこに行けば、いっぱいであっても何らかの指示をして下さることをのぞみます。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日：2月17日 妊娠週数：40週 鉗子分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

- ・水、ガス、電気などのライフラインの供給（比較的被害の少なかった北区のなかでも水の復旧が一番遅かったので主人一人では間に合わず寒いなか大きなお腹で何時間も何回も給水車に並びました）
- ・病院の受け入れ体制の広報（電話がかからない場合が多く受け入れてもらえるのが不安）
- ・食料（カップめんやハム等しか手に入らず栄養面の問題）
- ・交通（道路が混雑しているので陣痛がきてから病院へすっと思えるのが不安だったので）
- ・産婦に対しては赤ちゃんのミルク、おしめ、うぶ湯、布団、食料、育児指導等。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日：2月17日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

医療一具合が悪くない場合でも、検診という形で病院にかかれる様にしてほしい。援助一体を休める場所を確保してほしい。子供が生まれたらどうなるのだろうという不安があるので、おしめ、ミルク子供の安全等準備して不安をとりのぞいてほしい。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日：2月18日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

書かなくてもどこの病院でもされてると思いますが、不安でしかたない妊産婦を軽くなっとくさせるのではなくその人が本当に不安が安心にかわるように接してほしい。災害の時大変な事はわかるけれど。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日：2月18日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

体調に変化がないか検診をしてほしい。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日：2月19日 妊娠週数： 週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

私の場合はお産する病院はだいじょうぶだったので安心でしたがもし病院などがつぶれていたりすると不安なのですぐお産できる病院などテレビなどで情報をおしえてほしいです。（1カ月ごとに出産をひかえていたので）あとはほにゅうびん、ちくびなど薬局にいてもうりきれていて（あわてて皆が買ったため）こまりました。ほんとうに被害がすごかった長田、西宮、東などはひなん場所でもらえたようですが私たちのように北区ではんぱの被害のところでは自分でさがしてかうしかありません。友達など（西宮などの）の話をきくと被さいちはほにゅうびん、ちくび、おむつなどありあまっておりつかいすてのようにはほにゅうびん、ちくびなど使っていたそうです。私たちは大きなお腹をかかえて自分の足でおむつなどかきにいき（かさばるのでたいへんでした。数をかえなくて）ぎょうれつしてやっとかえて・・・食料もおもうようにかえずほんとうに平等に物がいくようにしてほしいです。

被災時住所: 神戸市北区 経産婦  
出産日: 2月19日 妊娠週数: 37週 自然分娩  
出産病医院の住所: 小野市

- ・飲料水の確保
- ・食料品の調達
- ・衣料品の備蓄
- ・母子共の避難場所の確保

被災時住所: 神戸市北区 経産婦  
出産日: 2月20日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市北区

通院先の情報の連絡やもし、その病院が不可ということになれば替わりの病院の紹介。

被災時住所: 神戸市北区 初産婦  
出産日: 2月20日 妊娠週数: 41週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市北区

- ・病室 食料、水等の確保
- ・トイレ、シャワー等の生活水の確保

被災時住所: 神戸市北区 経産婦  
出産日: 2月20日 妊娠週数: 41週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市中央区

院長先生の方から、直接にお電話をいただき、とても安心し、出産の心配がすっかりなくなりました。あたたかい言葉とどんな状態でも産める病院があるということだけでいいです。

被災時住所: 神戸市北区 経産婦  
出産日: 2月20日 妊娠週数: 37週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市須磨区

交通状況が悪くなるため、いざという時の緊急処置、安心感を与えて欲しい。

被災時住所: 神戸市北区 経産婦  
出産日: 2月21日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市北区

優先的に対処していただきたいです。  
(今回同様)私の場合にはなにも影響がなく援助のお世話はしていただくこともなかったのですがニュースや新聞で心暖まる記事を見て読みました。先生方はねるひまもおしめ対処されていました。本当にご苦労さまでしたとともにありがとうございます。

被災時住所: 神戸市北区 初産婦  
出産日: 2月22日 妊娠週数: 37週 鉗子分娩  
出産病医院の住所: 神戸市北区

栄養的に偏った食事になるので妊娠中毒症等弊害がおきやすくなるとおもうのでバランスのとれた食事がとれるようにしてほしい。

被災時住所: 神戸市北区 初産婦  
出産日: 2月22日 妊娠週数: 39週 鉗子分娩  
出産病医院の住所: 神戸市北区

まだ生まれていなくてよかった。地震の時生まれていて実家に帰っていたらたんすやいっぱいおれたので。そう思うとラッキーでしかない。

被災時住所: 神戸市北区 初産婦  
出産日: 2月22日 妊娠週数: 38週 鉗子分娩  
出産病医院の住所: 神戸市北区

精神的に不安定になったり、無気力になった人が多かったので、カウンセリングなど、もし可能なら精神的なバックアップをして欲しい。赤ちゃんの衛生状態(沐浴や、ほ乳びんの消毒等)を保てる様赤ちゃんのいる家には特別な配慮があればいいと思う。(水やガスの確保)

被災時住所: 神戸市北区 初産婦  
出産日: 2月23日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市北区

- ・非常時には対応できる産院や病院をすぐにニュースで知らせて欲しい(対応不可のところも知らせて欲しい)
- ・最悪の場合は自宅でお産できるような助産婦の派遣等も考慮してほしい(非常時には病院に行くまでの交通の混乱等があるので)

被災時住所: 神戸市北区 初産婦  
出産日: 2月23日 妊娠週数: 41週 帝王切開  
出産病医院の住所: 神戸市北区

交通網のマヒで、新しく病院を、さがさなくてはならなくなった。母子手帳に、乳児検診や予防接種をしてくれる医院は、のっている。このように、産婦人科の一覧表などものをせておくと、今回のような時役に立つのではないかと思われた。



被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日：2月24日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

- ・病院へいっても処置をしてもらえないかどうかわからないので不安になる。出産のばあいうけいれてもらえるかどうか情報がほしい。
- ・水等重いものが運べないのでそのような援助がほしい。
- ・物資が少ないとき赤ちゃんのものなど手に入りにくい。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日：2月24日 妊娠週数：38週 鉗子分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

優先的に医療が受けられるようにしてほしいです。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日：2月25日 妊娠週数：40週 吸引分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

精神面でのケアを一番に希望する。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日：2月25日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市中央区

出産が、出来るかどうか、妊婦検診をしてもらえないかが、一番気になりましたので、やはり、非常事態の際、病院が、受け入れてくれることを希望します。もし、病院の被害が大きい場合、病院の方で、信頼できる医療機関を紹介して頂きたいと思います。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日：2月25日 妊娠週数：29週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市須磨区

〇〇病院の様な高度医療を持った病院をもっと増やしてほしい。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日：2月26日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

私自身、地震後すぐお腹がはったりそのとき9ヵ月だったこともあってこんなときにもし陣痛が始まったらちゃんと出産ができるのであろうか？ということが一番気がかりでした。どんな事態でも診察や分娩ができるようにしてほしい。あと、電話がつかえなかったり道路にも被害がでたときどのように病院に連絡すればいいのかと不安になったのでそういう面でもすぐ対処できるようにしてほしいと思いました。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日：2月26日 妊娠週数：41週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

妊婦さんにとっては大火災や風水害なったら病院にもいくのとおくなるしそないなったら妊婦さんは病院がこわれたらみてもらえるところもさがさないえないからたいへんです。医療もおおなっていないければ妊婦さんもたいへん。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日：2月26日 妊娠週数：41週 吸引分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

災害時には、交通機関がストップしてしまい、車での移動も困難になるので、各地区（徒歩で行けるくらいの範囲内）に臨時医療の場所をつくってほしいです。

（阪神大震災の時、病院が無事なことは確認できたけど、そこまでたどりつけるかどうか不安でした。）

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日：2月26日 妊娠週数：41週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

スムーズな対応をして頂きたい。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日：2月27日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市西区

妊娠しているときというのは普通の生活をしている場合でも精神的に不安定なものです。特にこういう災害の場合はもっともっとひどくなると思います。かみおむつやミルクの配給はもちろんのことだけれど心のケアについても考えてほしいです。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日： 3月 1日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区  
まず食事だと思います。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日： 3月 1日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区  
一番心配だったのは、やはり健診が出来ないのが、こわかったです。丁度、健診が、2週間に一度の割合で行かないとダメなのに、行けないという事が、ストレスになりました。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日： 3月 1日 妊娠週数： 39 週 吸引分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区  
私自身は自宅が一部損壊でも住むには不自由な状態でしたので幸運でしたが、被害の大きかった地域では、避難所で、母乳も出ず、お湯もないのでミルクもよく溶けず、冷たいままあげざるを得ないつらい思いをされたお母さんが多かったと聞きます。大人の食事を用意するとともに、ミルクや離乳食もお湯も、きちんとすぐ手に入る状態でいられるよう、援助をできる準備をしておかなければと思います。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日： 3月 3日 妊娠週数： 35 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区  
・突然の出産にそなえて道路（交通）状況などの確保をお願いしたい。  
・乳児用のミルク、水、紙おむつの援助。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日： 3月 4日 妊娠週数： 37 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区  
地震のあった時早産予防の為、産院に入院していたが、飲み物や、食べ物が思うようにあたらず困ったので、もう少し、非常時の食事など、注意してほしい。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日： 3月 6日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区  
・テレビかラジオ等で病院開業状況をしてほしかった。電話も通じないしとにかく1週遅らせて検診にいったものの分娩はみられないとのことで紹介状をその時もらったので。  
・地震ごは地震で逃げまどう夢などいろいろなやまされたので検診のときにでも産科とは別に精神面でのケアのシステムがあったらよかったと思う。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日： 3月 6日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区  
おしめ、ミルクや湯冷まし、入浴体制など新生児の為の援助など。あと妊婦の相談室みたいなもの。（地震の際にタンスが腹におちてきてと色々不安や心配にこたえる）

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日： 3月 7日 妊娠週数： 38 週 帝王切開  
出産病医院の住所： 神戸市北区  
非常事態に限らず、妊産婦は、いろいろな事で不安になり、悩み事をかかえているので、24時間体制で良きアドバイスをして頂き、又、同じ様な不安や悩みを持っている人達が集まれる場所等を提供して頂けたらと思います。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日： 3月 8日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区  
：もしも通院中の病院が被害などを受けた場合他の病院へのひきつぎを正確にしてほしいです。  
：今回の地震で〇〇クリニックのエアロピクスの先生が被害をうけられレッスンを1日おやすみされましたがその案内に院長先生みずから電話をして下さり「大丈夫でしたか」と聞かれたと きはうれしかったです。自分から電話をして不安をとりのぞくよりとても心強かったです。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日： 3月 8日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

大震災の後ちゃんと産めるかと不安で夜も眠れなかったもので、いざというときこの病院でもすぐに受け入れてもらえるような体制を整えてもらいたいです。どんなときでも安心して産めるよう援助をお願いします。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日： 3月 8日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

- ・水くみや買物の行列を少しでも優遇してもらいたい。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日： 3月 9日 妊娠週数： 37 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

私自身、地震の時は8ヵ月でそのすぐあとからお腹のはりがよくあり（特に余震がある度に）また、何回目かの少し強い余震の時に（8ヵ月の4週目ぐらいで）お腹の赤ちゃんが逆子になったのでこういうときに私は病院の近くで震災後も家のあたりはそれほど被害も少なくて大丈夫だったのでいつでも連絡のとりやすい様になったらいいと思います。（家の電話はすぐ混線したので）

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日： 3月10日 妊娠週数： 37 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

地震後は不安でピクピクして私の家は新築だったので被害はなかったけどこわくて検診にいったときはもうこのままずっとうまれるまで病院にいたいと思いました。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日： 3月10日 妊娠週数： 38 週 吸引分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

妊婦の時は、とにかく、おなかの子供の事が心配なので、（ショックや動揺、又、無理な動き等で、子供に異常がないか、又、妊娠後期の妊娠中毒症にならないか。）早朝のカウンセリングや、診療体制をとってもらえればと思います。今回の地震で、私自身、交通手段がなくなったり、子供用品店がなくなったり、あっても援助物資で出していましたといわれたりして、新生児の物がそろえられなかったりしました。乳児、新生児の物資確保や、援助を、希望します。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日： 3月11日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

災害時の注意報もしくは避難勧告が出された場合各市町村の病院へ避難できれば体調に異変がおこってもすぐ診察してもらえるので安心だろうなあと思いますが・・・

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日： 3月12日 妊娠週数： 39 週 吸引分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

心の不安が妊産婦に対して、悪い影響を与えます。よって、設備・物資だけでなく、心のケアも大切だと思います。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日： 3月13日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

- ・少しでも身体に異常を感じたらすぐ診察してもらえる救急医療（産科）施設があってほしい。
- ・電話などで質問をうけてくれて緊急を要する際、すぐみてもらえる病院を紹介してほしい。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日： 3月13日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

早急に医師の派遣をしてほしい。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日： 3月14日 妊娠週数： 35 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区  
もしもまた震災や水害などで道がなく  
なったりしてもヘリコプターなど使って妊  
婦のかたをたすけてほしいです。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日： 3月15日 妊娠週数： 33 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区  
まず精神的に安心させてくれること。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日： 3月15日 妊娠週数： 38 週 吸引分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区  
どうしても 電車・バスに乗車したり、  
人の多くいる場所に行った時妊婦に対して  
いたわりの気持ちが少ないように思いま  
した。私も妊婦になる前はそうだったと気  
付きました。席をゆずってもらった時はと  
ても嬉しかったです。アンケートの答えに  
はなっていないと思いますが私が思ったこ  
とです。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日： 3月16日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区  
人から聞きましたが地震のため今まで  
行っていた産婦人科では出産できず他医  
院を探したときある総合病院に診察及び  
出産を頼んだら電話でことわられたとき  
きました。このようなときに電話で断  
るとは失礼なことだと思います。どこ  
でも最善をつくしてほしいと思いま  
す。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日： 3月17日 妊娠週数： 38 週 帝王切開  
出産病医院の住所： 三田市  
被害地区の妊産婦を心よくすみやかに  
受け入れてくれる病院が大切。母親の  
大きなショックで子供に及ぼすものは  
多大です。安心できる場所が大切。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日： 3月18日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区  
安心して診察や入院できる医療病院。  
近くにあらゆる場所に24時間あって  
ほしいです。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日： 3月20日 妊娠週数： 33 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区  
カウンセラーの派遣など。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日： 3月21日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区  
異常が起こった場合、すぐに連絡がと  
れることが出来、指示を受けることが  
出来る。（電話が混乱していても）

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日： 3月22日 妊娠週数： 39 週 帝王切開  
出産病医院の住所： 神戸市北区  
なによりも安心して出産できるよう、  
いつどのようなとき、場所でも出産  
できる様医療、スタッフ、薬品、道具  
などをスムーズに運び出すシステム  
を作り上げて欲しい

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日： 3月22日 妊娠週数： 34 週 帝王切開  
出産病医院の住所： 神戸市北区  
家がなくなった人だけおむつやミ  
ルクをもらっている。主人の会社  
がつぶれかかって給料が1/3に  
なり、経済的にかなり苦し  
くなった。妊産婦平等に扱って  
ほしい。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日： 3月23日 妊娠週数： 37 週 帝王切開  
出産病医院の住所： 神戸市垂水区  
通っていた病院が被害を受けた  
場合にそれにかわる信頼できる  
病院を紹介してほしい。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日： 3月23日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区  
非常時に気がねなく医院で診  
察がうけるとよいと思います。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日： 3月26日 妊娠週数： 40 週 帝王切開  
出産病医院の住所： 神戸市西区  
何かおこってもすぐに検診して  
くれるところを前もって教え  
ていて欲しい。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日：3月26日 妊娠週数：38週 吸引分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区  
診察時間など関係なく、しばらくは、24時間いつでも診察してほしい。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日：3月29日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区  
・ 検診の回数をふやす。  
・ ミルク、おむつの確保。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日：3月29日 妊娠週数：40週 帝王切開  
出産病医院の住所：神戸市北区  
・ 急をようする出産時などに備えてのある程度の災害にも対応できるような非常用の電気（電灯）や水などを確保できていればいいと思う。  
・ 近辺だけでなくある程度離れた地域の産婦人科（特に個人病院）との連携を常にとれるように普段から情報交換などをしておくことなどもよいのでは。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日：3月29日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市西区  
特に妊産婦に限りませんがコンピューター化の進んだ病院で万一台コンピューターが使えなくなったさいの対処。大病院の分業化にともない他の業務については全くわからず混乱している。患者がそれ以上に混乱しないよう誘導できるなど訓練する必要性があるのではないのでしょうか。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日：3月30日 妊娠週数：40週 帝王切開  
出産病医院の住所：神戸市北区  
妊娠中は病気でないにしろ精神面が多くかかわってくるので検診日でなくても無料検診などを実施していただいて安心できる対応を望みます。私の場合たまたま震災2日後が検診日だったのでよかったのですがそれが半月、1ヵ月先だったとしたら不安でした。また自費でとなると経済的にも大変なので。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日：3月30日 妊娠週数：37週 吸引分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区  
安心して診察してもらえる病院の手はい

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日：3月31日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市須磨区  
私の場合、今回の地震後、通院していた病院に連絡がとれず他の病院に検診をおねがいがしたのですがことわられたので非常事態の時は診察できる病院は通院者以外をうけいれてほしいと思います。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日：3月31日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市須磨区  
・ 病院からの電話。  
・ すぐ入院できるような病院の確保。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日：3月31日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：尼崎市  
今回の様に交通がマヒした場合などは、診察時間を延長したり、休日も診察してくだされば、何時間かかっても行こうと思います。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日：4月1日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市中央区  
病院の安全と交通の方法など、できるだけ病院をかえずに出産出来るように。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日：4月1日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区  
いつでも受け入れ体制のある病院があればいいと思う。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日：4月1日 妊娠週数：37週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区  
自分が通院している病院が火災などの非常時に病院の安全対策はどれだけできているか、妊婦には全くわからないのでどういうふう安全に心がけてふだんからどんなことにきをつけているのかあかればとおもいます。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日： 4月 2日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

地震で家が半壊になり市に仮設のことを聞くと妊婦だからといって仮設は入れませんといわれ雨の日10ヵ月のおなかで1才4ヵ月の子供を抱き必死で不動産やをまわり家をさがしました。でも今現在でも仮設はいっぱい空いている。市職員の対応の悪さ、国の対応の悪さ、仮設の人は医者代も今年はまだでも仮設でない人はだめなどといういろいろ不公平ばかりあり、自分のことは自分でと思い希望しても現実にはならないとあきらめの気持ちだけです。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日： 4月 3日 妊娠週数： 38 週 帝王切開  
出産病医院の住所： 神戸市中央区  
非常時の道路を確保してほしい。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日： 4月 3日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

- ・災害によって身体の状態がどのように変化するのか。予期することは困難です。まして胎児のことは気にかかると思いますが、できれば迅速に診察していただき精神的不安を取り除いていただける医療体制を整えていただきたいです。
- ・今回の地震で断水になり入浴できないことも妊婦には苦痛でした。身体を清潔に保てる設備も考慮していただきたいです

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日： 4月 3日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

すばやく、親切に、妊産婦を安心させる様な。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日： 4月 4日 妊娠週数： 40 週 吸引分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

電話などの通信を確保して迅速な治療が受けられる様にして欲しい。

被災時住所： 神戸市北区 初産婦  
出産日： 4月 4日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

胎児がよい状態である様に、その方（妊産婦）の状態にあった診療を適切にしてもらえればよいと思います。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日： 4月 4日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

出産時に地震が来たらどんなのかと考え、不安がつのつた。電気・水などの重要さと、陣痛が来た時、交通がストップしていたらという道路交通状態の良し悪しがすぐ不安であり大切なことだと思った。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日： 4月 5日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

電話が普通になると医療施設の被害状況、診察が可能かどうかなどの情報がつかめず大変不安なので、テレビ、ラジオなどで早朝に細かな情報を流してもらいたい。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日： 4月 5日 妊娠週数： 26 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

妊婦検診が受けられず、おなかの張り止めもなく困ったので、保健婦等（相談窓口）の訪問や、一時的にどこの産婦人科でも診察して頂けるという非常事態の特別証の様なものがあれば…と思いました。

被災時住所： 神戸市北区 経産婦  
出産日： 4月 7日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

診察を受けている病院の被害状況、通常の診療を受けられるかどうか、緊急の場合どうしたらいいのか が知りたかった。早い段階で個別に病院側と連絡がとれたら、妊婦側も その時点での状態を報告できるし その後の対応もわかって 安心できると思う。出産はまったなし。金銭面の優遇・援助は必要

被災時住所: 神戸市北区 経産婦  
出産日: 4月8日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市北区

直後の公的機関での検診などがあれば…。全半壊だと、医療費免除などがありました。一部損壊だと、それが全くなかったのがちょっとしんどかったです…。一部損壊といっても、屋根が落ちるし、車はへこむし…で経済的負担が大きかったです。検診の費用の免除などがあるとすかったナと思います。

被災時住所: 神戸市北区 初産婦  
出産日: 4月11日 妊娠週数: 36週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市兵庫区

- ・妊婦だけとは限らずトイレの設置を早めにして欲しい。
- ・医療の情報を早く知りたかった。(今回の地震の為病院がこわれている、救急患者のみ受付等があった)
- ・地震が冬にあったため避難所においても風邪ひきの方がおりうつるのがこわかった。妊婦の居場所は車内だけと限られていたので各個人に応じた場所が欲しかった。

被災時住所: 神戸市北区 経産婦  
出産日: 4月11日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市北区

病院がひどくこむようになるので予約制などにして待時間を少しでもへらしてほしい。

被災時住所: 神戸市北区 経産婦  
出産日: 4月11日 妊娠週数: 37週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市北区

定期的検診とは別に直後、診察をしていただけたらよいと思います。

被災時住所: 神戸市北区 初産婦  
出産日: 4月11日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市北区

ヘリコプターなどのあらゆる交通手段を使って被害のない地域の病院へ行けるようにしてほしい。

被災時住所: 神戸市北区 経産婦  
出産日: 4月11日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市北区

病院の状況によって、診察がほしいときできなかったのを診察するまでけっこうしんばいだったので、非常事態にはいつでも診察ができることがほしいです。

被災時住所: 神戸市北区 初産婦  
出産日: 4月12日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市北区

出産近い場合などは病院に優先で待機できるようにしてほしい。

被災時住所: 神戸市北区 初産婦  
出産日: 4月12日 妊娠週数: 38週 帝王切開  
出産病医院の住所: 神戸市北区

出産するまでは安全にしていられるように援助してほしい。

被災時住所: 神戸市北区 初産婦  
出産日: 4月13日 妊娠週数: 39週 帝王切開  
出産病医院の住所: 神戸市北区

- ・ゆっくりと休養できる場所。
- ・食料の確保。(精神的ショックが大きいため)

被災時住所: 神戸市北区 初産婦  
出産日: 4月13日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市北区

- ・水の確保。
- ・発電機。

被災時住所: 神戸市北区 経産婦  
出産日: 4月14日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市北区

母子ともに安全確保。

被災時住所: 神戸市北区 初産婦  
出産日: 4月16日 妊娠週数: 35週 吸引分娩  
出産病医院の住所: 神戸市北区

妊産婦がおちついてゆっくりできる環境の場所の確保。